てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
29
まんが 山本サトシ
シナリオ 日下秀憲
©2008 Pokémon
©1995-2008 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK inc.
てんとう虫コミックススペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
29
日下秀憲
山本サトシ
小学館
TCS-0743

作者のことば

山本サトシ YAMAMOTO Satoshi

やまもと さとし

ついにエメラルド編完結です。最終話までの原作を一気にもらい目を通すと…肌は泡立ち、武者ぶるいし、涙ぐみました。そして、これを早くまんがにしたい！　みなさんに読んでもらいたい！と、強く思い、この29巻はほぼ全編一気に描きおろしました。もしポケSPをこの巻からはじめて読もうと手に取ったあなた。ぜひ1巻からお読みください。まちがいなく、何倍も楽しめますから！

日下 秀憲 KUSAKA Hidenori

くさか ひでのり

『プラチナ』全国図鑑のため久々『R･S』をプレイ。ダブルスロット＆パルパーク使用で図鑑を埋めてます。それでも足りなく『ボックス』『コロシアム』等GCソフトまで出動。ルギアにいたってはスナッチしたダークルギアをリライブしGBAに送った上で『プラチナ』に移そうと『XD』に再挑戦。以前育てた面々との再会、でもそれは思い出でなく現在形。こういう所で改めてポケモンていいな…と、思いますね。

>>> Cover Illustrated by YAMAMOTO Satoshi
>>> Cover Designed by KAWASOME Hiroyuki (grafio)

てんとう虫コミックス
スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
29
まんが 山本サトシ
ストーリー 日下秀憲
©2008 Pokémon
©1995-2008 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK Inc.

29

POCKET MONSTERS SPECIAL

Story Hidenori Kusaka

Art Satoshi Yamamoto

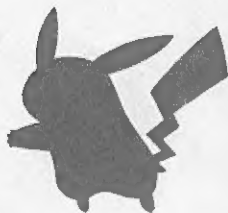
歴代ポケモン図鑑所有者たちとその活躍

カントー地方

【第1章】

マサラタウンの少年・レッドはオーキド博士から受け取ったポケモン図鑑を手に、ポケモントレーナーの頂点を目ざし旅立つ。同じ目的のライバル・グリーンとのバトル、少女・ブルーとの出会い、ロケット団との死闘を経験して、レッドはポケモンリーグでの優勝を果たす。

【第2章】

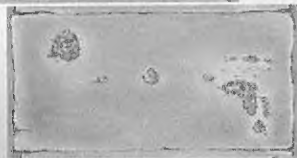
2年後。突如レッドが失踪する事件で騒然とするオーキド研究所に、謎のトレーナー・イエローがやってきた。レッドの消息を追うイエローの前に、ワタルを頂点とするカ

ントー四天王が立ちはだかる。スオウ島での決戦の末、イエローはカントー四天王の野望をくいとめた。

【第3章】

さらに1年後、ワカバタウンのポケモン屋敷で暮らすゴールドは、ウツギ研究所からワニノコを盗み出したシルバーを追って旅に出る。反目しあいながらも、やがて共闘することになるふたり。オーキド博士からポケモン図鑑完成の依頼を受けたクリスも合流し、R団残党を率いて暗躍する仮面の男の謀略をついに打ち砕いた。

【第4章】

ポケモンコンテストに情熱を燃やす少年・ルビーは、引っ越し先・ミシロタウンの新居を家出する。道中、野生児のサファイアと出会い「コンテスト全制覇」「全ジム戦制覇」をかけて80日間の冒険

SPECIAL OBJECT
カントー地方
レッド
ブルー
グリーン
サファイア
ルビー
競争がはじまる。その頃ホウエン地方では、アクア団とマグマ団による征服計画が進んでいた。その結果目ざめたグラードンとカイオーガにより、ホウエンは壊滅状態に陥る。が、ルビーとサファイアの決死の戦いにより、2匹はまた深い眠りへと落ちていった。
【第5章】
それから半年。ナナシマを舞台にレッドらの新たな戦いが始まった。サカキが手にした宇宙のポケモン・デオキシスに対しミュウツーとのコンビで挑んだレッド。激闘を制し、暴走する戦闘飛空挺をも無事着陸させ安堵するレッドたちだったが最後に三獣士サキが立ちはだかる。サキが放つ閃光。それを浴びた5人の図鑑所有者・レッド・グリーン・ブルー・イエロー・シルバーは…!!

POCKET MONSTERS -SPECIAL-

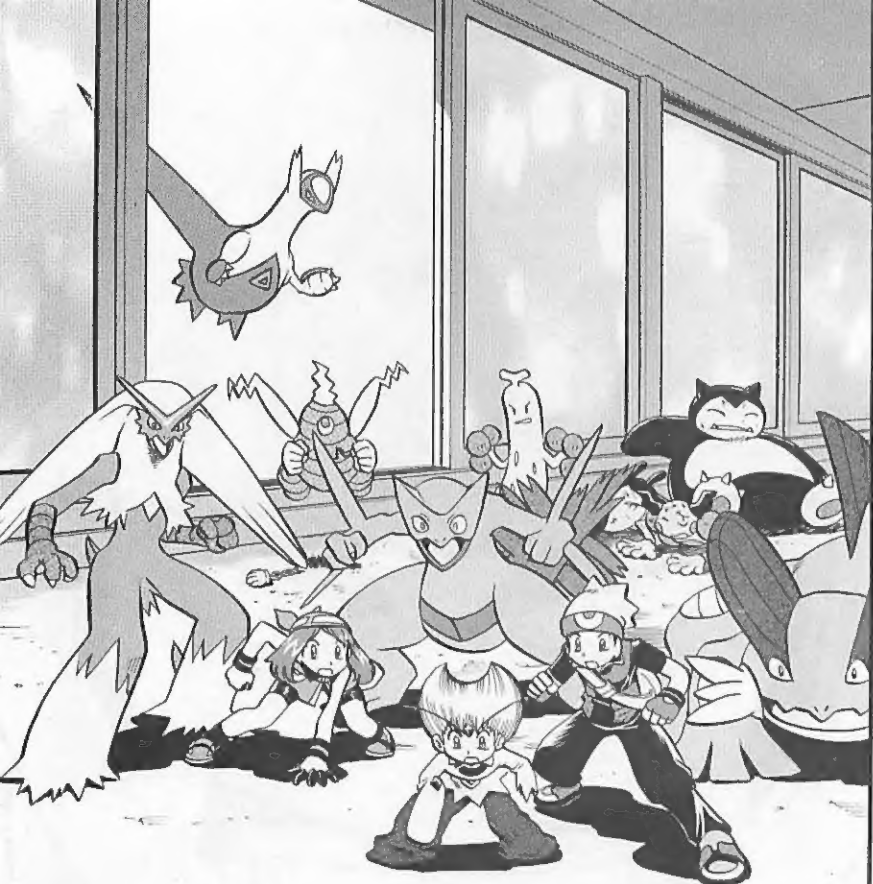
ホウエン地方

【第6章】

数か月後。完成したバトルフロンティアにやってきたエメラルドは報道陣の前で全施設の制覇を宣言、7人のブレーンに挑む7日間の挑戦を開始した。同時進行でジラーチ保護の任務も遂行するエメラルドだったが、ジラーチの能力を狙った敵・甲冑の男が行く手をはばむ。そしてついにジラーチは敵の手中に…。男の正体は元アクア団総帥・アオギリ！恐るべき彼の野望が、今、具現化する…!?

EMERALD

もくじ

POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

望みとあらば、見せようじゃないか。
クカカ…。これが、

これが
…私だ。

アオギリ!!
ルネで姿ば消したアクア団の…!!

…作り出してしまえばいいのさ。
おお、
来たな!?
待ちかねたぞ、
もう一人のブレーン!!
どういう意味だ!?
取り引きしようじゃないか。
おまえたちの大切な長と、
おまえの持っている「ジラーチ報告書」を…。
ぐいっ
…!!!

…「最終ページ」。読み解いているのだろう?

「知識」のブレーンよ。

さ?

どうする。

どうすればいいんだ!?

ルビー…、サファイア…、エメラルド。

ここまで来て…、……オレは…。

友を見殺しにはできん…。

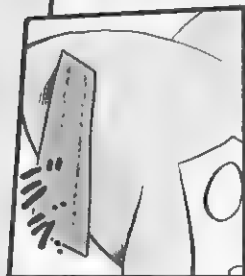
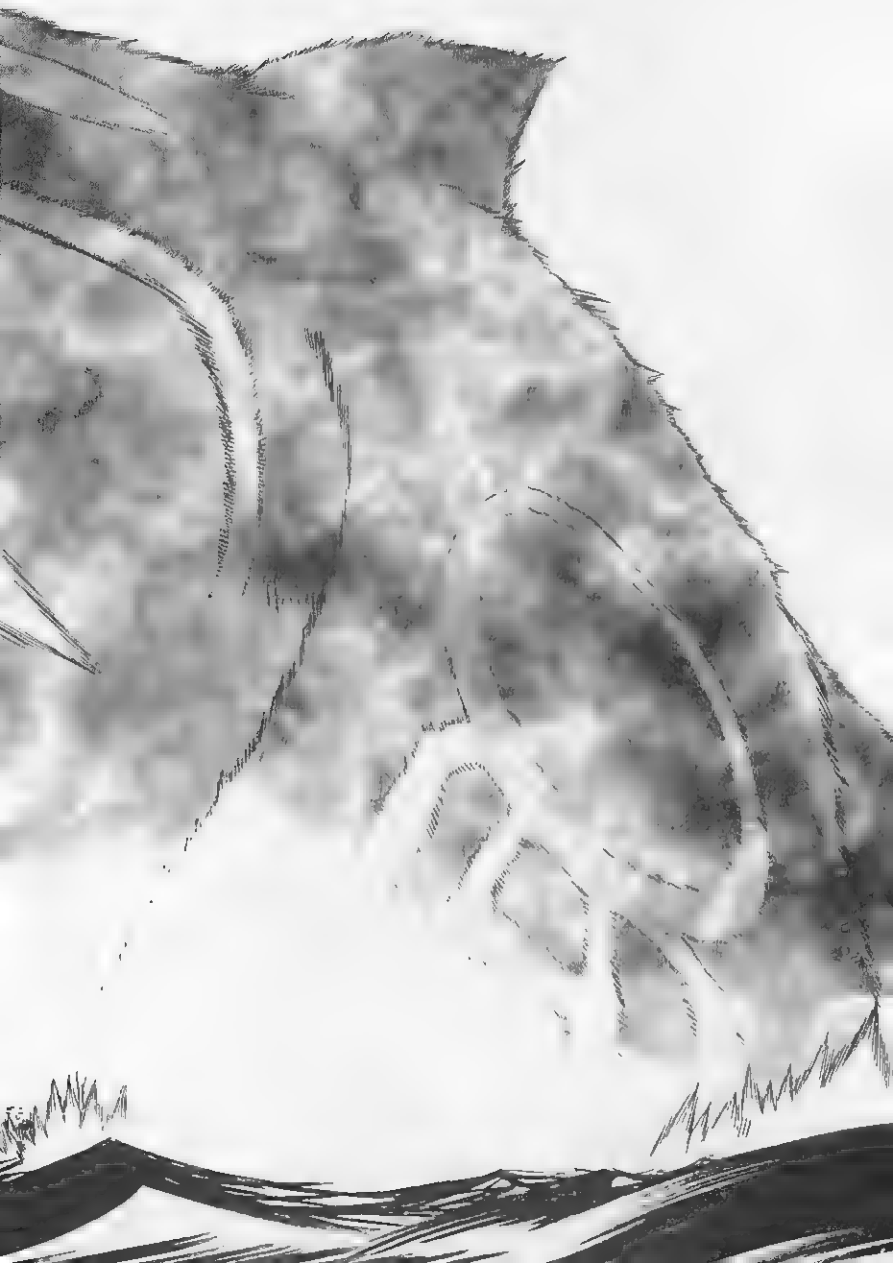
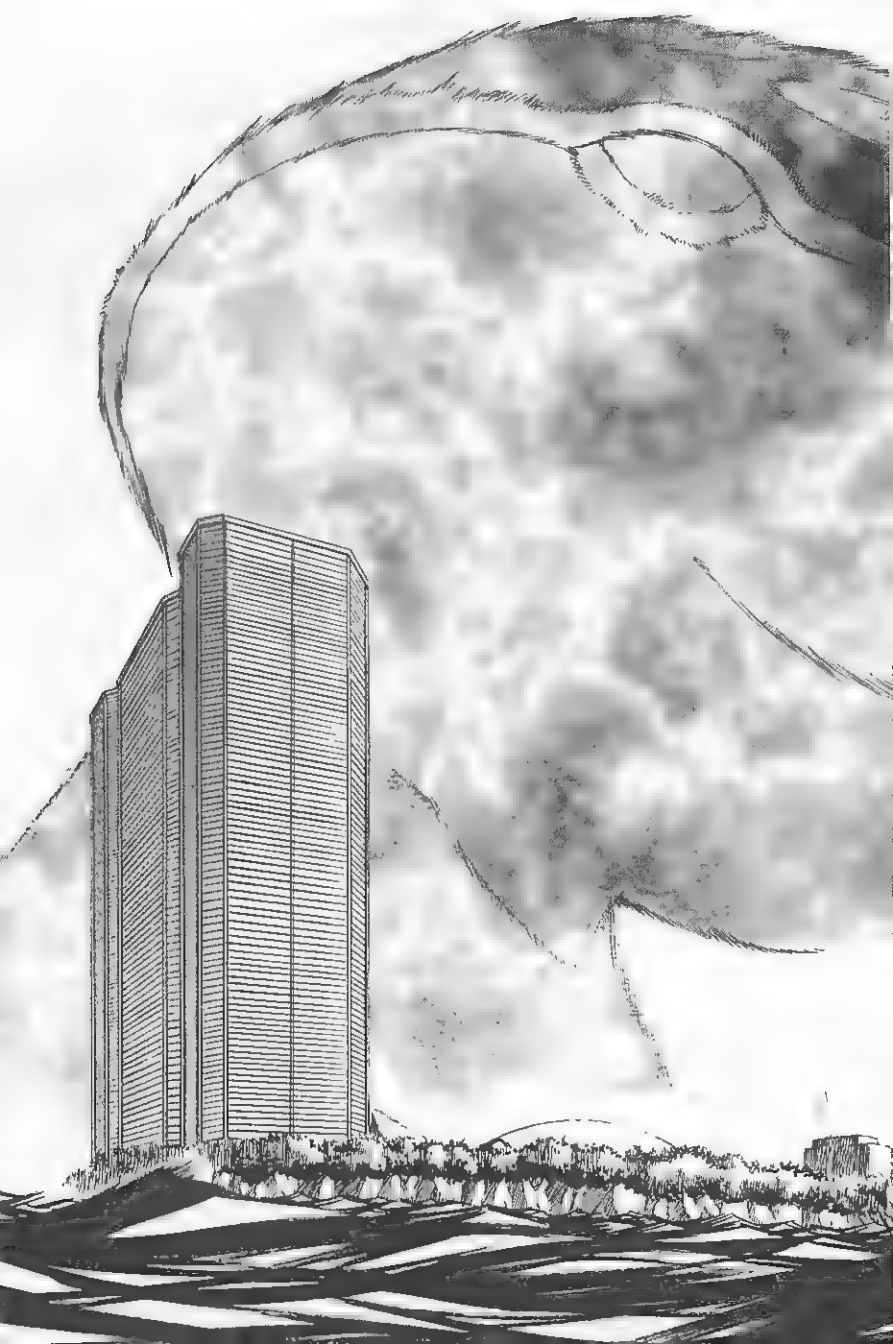
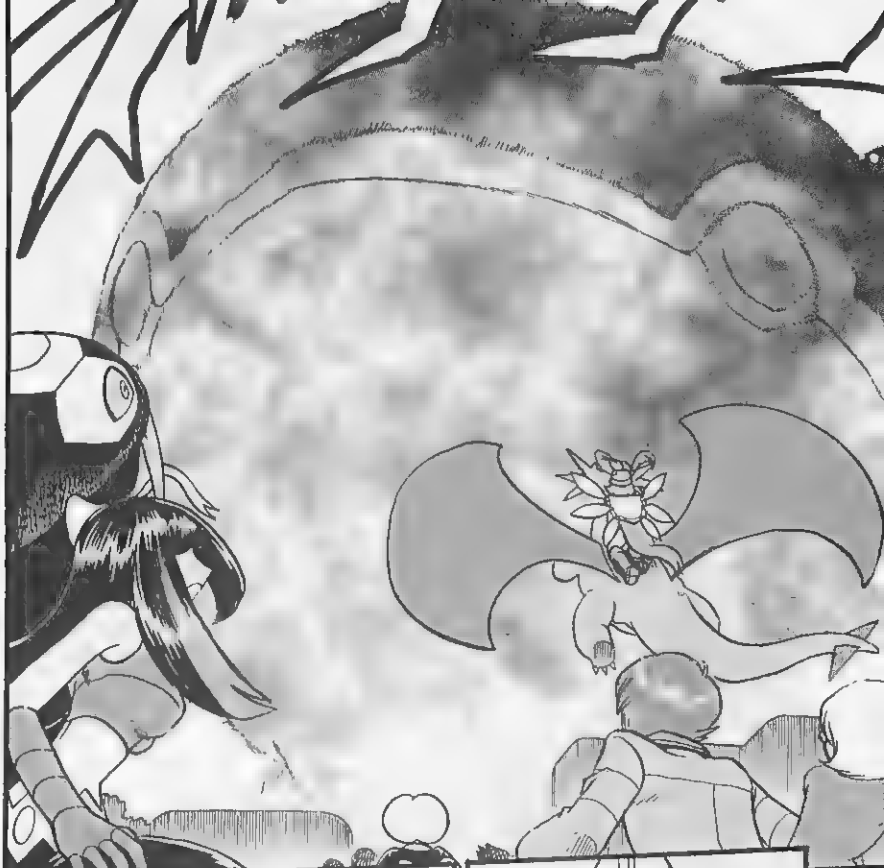
これまで…苦楽を共にしてきた…仲間を…。

…しかし…。

ぐあ!!

おお、おお。

なるほど…！
「ジラーチに
願いを伝える
ために は
腹部にある
第３の目を
開かせる……」。
なんと、腹に目とは。
そういえば
「気の流れが集まる
当て所」とか
言っていたな。
アメタマ。

よし、
ジラーチよ！
目を開け!!
その
第３の目で、
真実の目て
しかと
わが願い、
受け止めよ!!

ジラーチの「たんざく」に…文字が…浮き出ていく!!
願う者の意思をジラーチが読みとったのか!?
ズズズズ
いったいヤツの送った願いって!!
あれは…。

カイオーガ!!
…いや…、
もっともっと
巨大な!!
まるで…
カイオーガの
形をした海そのもの!!
そうだ!!
私は願ったのだ!!
「すべてを呑みこむ
海の魔物を
出現させよ」と!!

その願いば
ジラーチが叶えて
しまったと!?
こ、これなら本物の
カイオーガの方が
マシったい!!

…う。

仲間を救うために
したことだった。
しかし、そのせいで
仲間で築いた夢も
何もかもが
海の藻屑に消える…、
最悪の
シナリオ!!

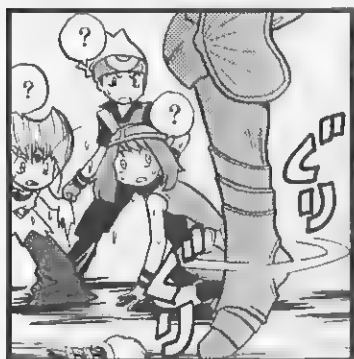
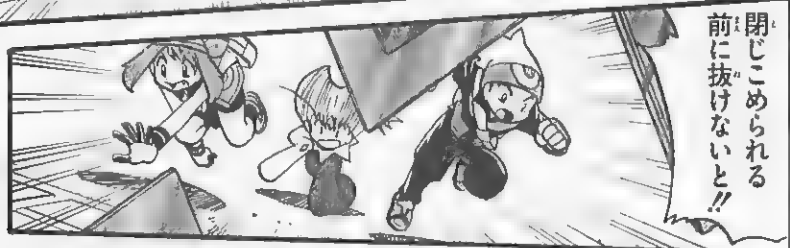
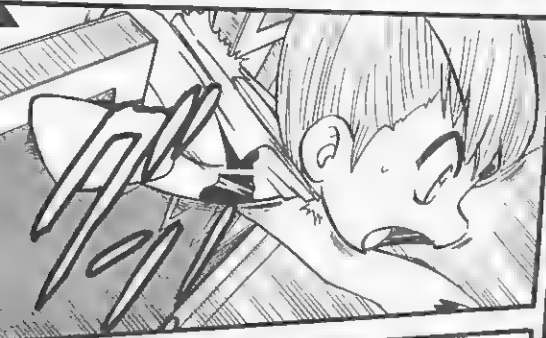
クカカカ。
イヤ、この上なく
よくできた最良の
シナリオだ。

気落ちしちゃ
ダメったい、
ダツラさん!!
リラさんば
取り戻せたんや!!
こっから
逆転たい!!

クカカカカ…。
…う。

お、おっと。
素の顔をさらしてすぎては
いけないと言われて
いたのだったな…。
!?

顔を明かした
にもかかわらず、
また甲冑を
かぶった!!
正体を
隠すための
鎧じゃ
ないのか!?

クカカカ、全員
海の藻屑と
消えるがいい。

ドドドド

ラティオス!!
リラさんとダツラさんを下へ!!
もう一度大波来るったい!!
ボクらも脱出を!!
ゴゴゴゴゴ
ザバ
シャ

ガシャン

ぶらぶら

コキコキ

?
?
?
ぐりぐり

なんば
すっとか!
げしっ

でも、言った言葉は本当のようだぞ、サファイア!!
ガ〃ガ〃ガ〃
すべて防災シャッターが下りはじめてる。
閉じこめられる前に抜けないと!!
ガッ
エメラルド!!?
引っかかったとか!? そんなダボダボの服着てるから!!

く…苦しい…。
助けて…。
はずれないとよ～！

と、止まった!!
よし!
ジッとして、
エメラルド。
今、とるから。

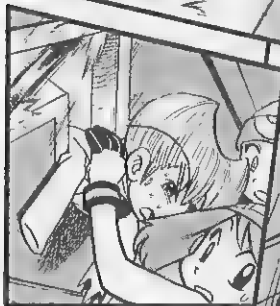
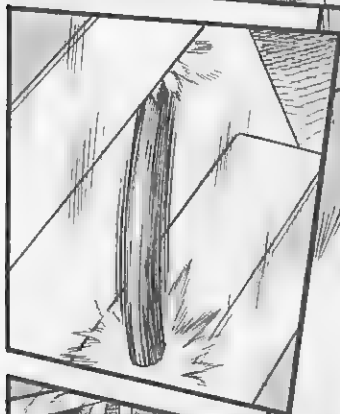
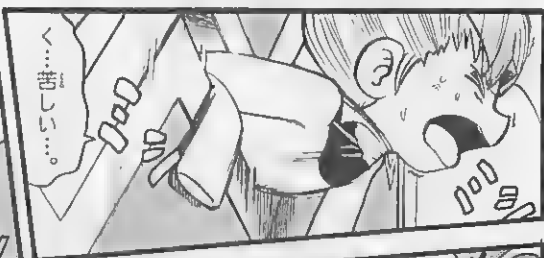
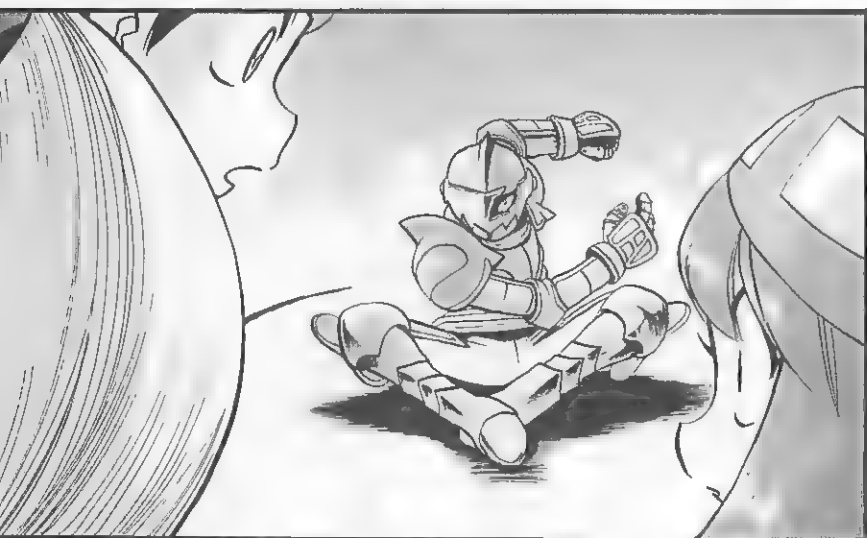
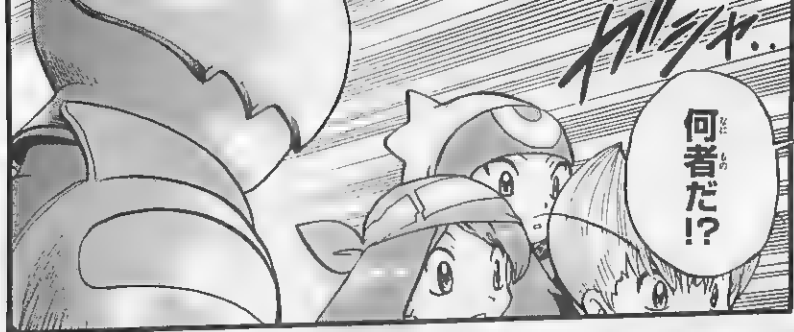
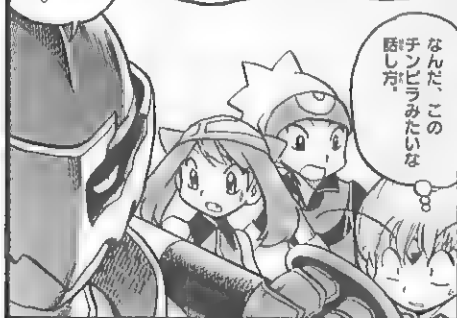
つっかえ棒が
飛んできて、
シャッターば
止めてくれた。
いったい
だれが!?

ガイル!?
ガイルが助けて
くれた!? まさか!?
いやー、間一髪
間に合ってよかった。
ぞぞぞぞ

ガシャ..
何者だ!?

われを模して
そこに立つ
おまえは、
んん!?
ガシャ

ガ、ガイルが
二人!?
どう
なってると!

……。

あーあ、もちっとだったのにバレちまったっスかー。
こうやってガイルに化けてよォ、ガイルの手持ちのアメタマやドククラゲをだましながら、ジラーチのとこまで行っちまう作戦だったのによー
チキショーめ！
いいとこで戻ってくんじゃねーよこのオタンコナスがよ〜。
なんだ、このチンピラみたいな話し方。
ニセモノめ!!
正体を現せ!!
ニセモノ〜!?
正体〜!?
ピリ
エニシダ語ってリラを利用したおまえが言うなっつーの！
てもよォ、
パカ…
だましだまされっつーのは戦いの中では、

よくあるこった、
気にすんな！
ガシャ
ガシャ

ホウエン地方
はじめて来たけど、
来がけに買った
名物フエンせんべい、
なかなかイケるっスねー。
!!!
おうクリス！
作戦変更だ！
出て来いよ!!
どこだ!?
どん
ここよ！
ゴールド!!
もう!!
いつも思いつきと
その場のノリで
行動を変えないでよ!!
だからこんな作戦、
賛成できなかったのよ！
大金かけて鎧まで作って
まっぷたつじゃない!!
うるせーなー!!
ガミガミまじめ
くさりやがって、
学級委員かっつーんだよ
おめーはよー!!
ク、
クリスタルさん？
ええ、わたしよ
エメラルドくん！
ここまでよく
がんばったわね！

……、残念だけどよ、野生児ギャル。その5人が助けに来ることはねーぜ。

助けに来ることはねーが、すでに全員ここにいる。

何を…、
ゴチャゴチャ言ってる…。
図鑑所有者だか何か知らぬが、このガイルを止めることなどできぬぞ!!
バクたろう! エーたろう!!

はしっ
ギュン
ギュン
ギュン
ギュン
ゴオオオオオ
むお！

ぐぐ…お。
この火力…。
どーだ、すげーだろ!?
おととい来やがれ、コンコンチキが!!

ジラーチの「たんざく」は3枚、
かなえてもらえる願いは、あと2つ。
待ってろよ！すぐ自由にしてやっからな。
ダチ公よ！
さあ…！

祭りの始まりだぜ!!

幻のポケモン・ジラーチ 1

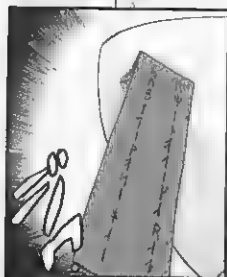
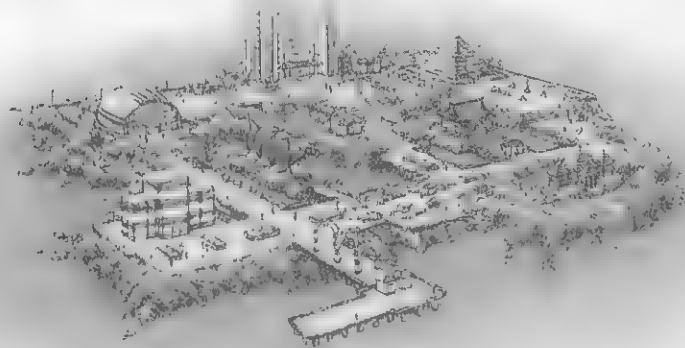
●高さ　0.3m
●重さ　1.1kg
●分類　ねがいごとポケモン
●性別　不明

1000年に一度、7日間だけ目覚めるという幻の存在。それがジラーチだ。清らかな歌声を聞き、1000年の眠りから目を覚ます。「ねがいごとポケモン」の名のとおり、人の願いを何でもかなえる力を使う。願う者は、ジラーチの腹部にある第三の眼（真実の目）が開かれた状態で目を合わせ、自分の意志（願い）をジラーチに知らせる必要がある。頭から下がっているのは、願いが書き込まれるための「たんざく」だ。

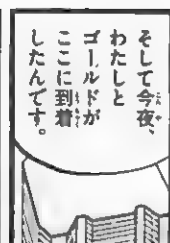
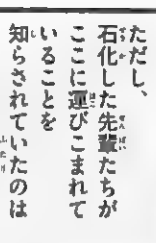
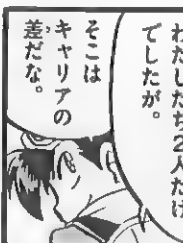
JIRACHI

SKB GL

POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

祭りの、
始まりだとォ?
ゴゴゴゴ
そーだぜ!何度も言わせんな!
よく聞こえねーっつーんならよォ、まずは耳の穴かっぽじりやがれこのトーヘンボク!!
それとも!
鎧、着てっから耳クソも取れねーんスか!?スカタン!!
オシャレ小僧に野生児ギャル!そしてミローチキリンボーイ!
改めて自己紹介するぜ!
オレは、ワカバタウンのゴールド!
こっちのマジメ女は、クリスタル!
ここへ来た目的は…!

先輩たち！
そして…、
ダチ公・シルバーの
石化を解くこと!!
…だぜ!!
以上!!!

石化を解く…ってまさか…!!
…じゃあ、ここに飾ってあるポケモン図鑑所有者5人…先輩たちの像は…!!
石像やなくて、石になった人やっていうと!?
そげんバカなこつ…!!
信じられねぇだろーが、
事実だぜ!!
おまえら!手持ちをボールごとよこせ!!

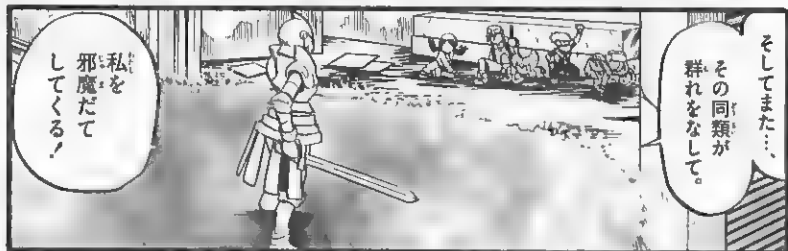
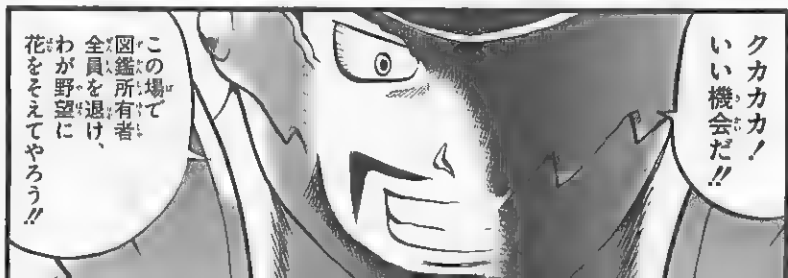
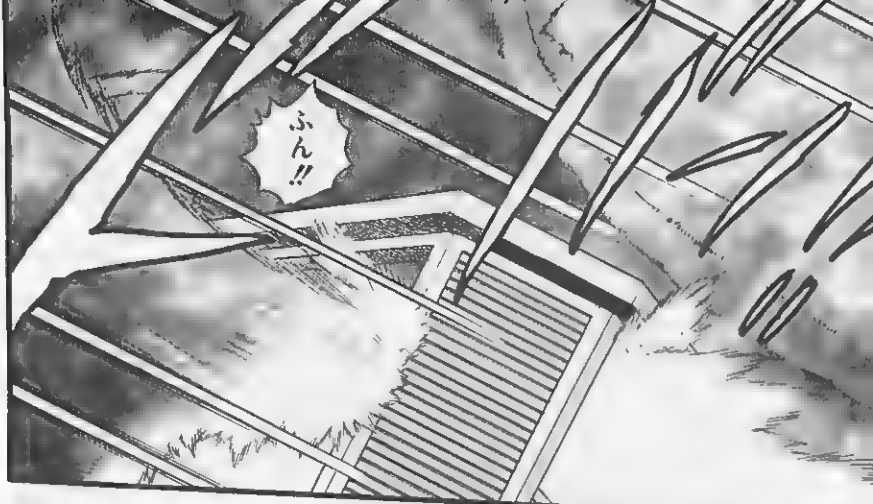
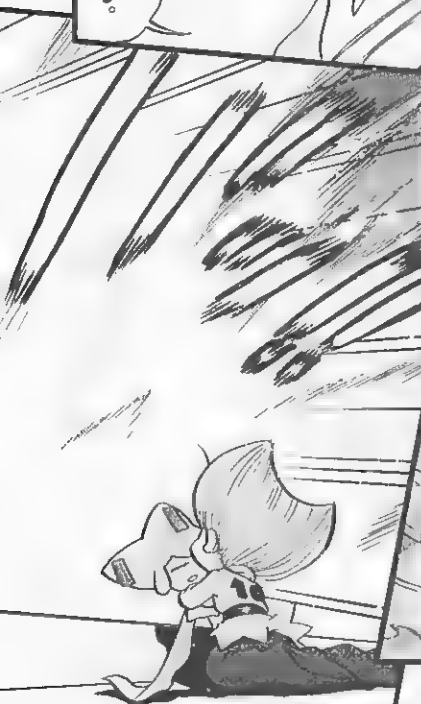
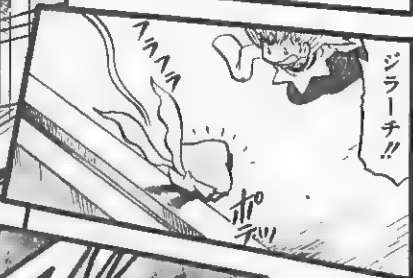
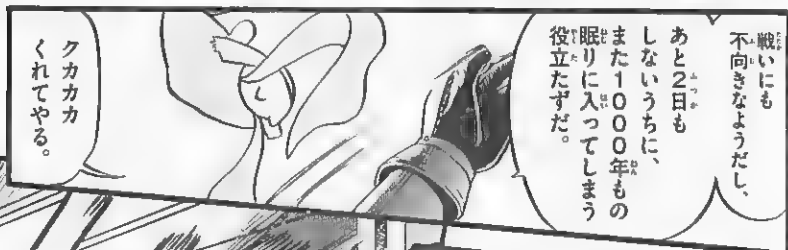
ぬうおおお!!

オーキド博士はホウエンのオダマキ博士、バトルフロンティアのエニシダオーナーと相談しわたしたちの派遣を計画しました。
計画は三段階。
最初にエメラルドくん、施設挑戦をしつつ、目覚めたジラーチを保護できないか探る。
敵が姿を現わし戦いが激化するようであれば、さらに図鑑所有者を送る。
それが5日目…つまり今日の朝に、ルビーくんとサファイアちゃん。

多少、間に合わない部分も出てしまいました…。

わが願いはかなえられた!!
すべてをのみこむ海の魔物は…、
この私の、
意のままにあるのだ!!!

ザザザザ
クカカ…。
…ずかん…。
ずかんしょゆーしゃ…。

ふん!!
ふん!!
ふん!!
がはっ
くく…
クカカカカカカカ!!

ぎゅっ
願いを
かなえて
しまった以上、
コイツももう
用済みだな。
じたばた
戦いにも
不向きなようだし、
あと2日も
しないうちに、
また1000年もの
眠りに入ってしまう
役立たずだ。
クカカカ
くれてやる。
ジラーチ!!
ポテッ
ズバッ
ふん!!

ラルド、
あぶない!!
〝ラスター
パージ〟!!!
今のうち、
こっちだ!!
助かったよ
ラティオス。
リラさんと
ダツラさんを
退避させて
戻ってきて
くれたんだね。
ああ、
下でもまだ
戦いが
続いている。
ブレーン7人が
力を合わせて、
暴れるレンタルポケモン
そして水害に対応している。

クカカカ!いいながめだ!!

ついに手に入れた!!この世界すべてを支配する力を!!

私は支配者だ!!

もちろん！

このジラーチに願うのよ！

バカな！すでにヤツが自分の願いに使ってしまった…。

ヤツは知らねーんだ。

ジラーチのたんざくは3枚。

1回の目覚めで3つまでねがいをかなえてくれることを。

それはよか！だったら残り2枚のうち1枚で先輩たちの石化を解き、

もう1枚で「アレ」を消す！

エニシダオーナーとオーキド博士がかわした約束…。

こちらからはジラーチ保護のため、わしが選んだ「図鑑所有者」をフロンティアに送らせてもらうがよろしいかな?

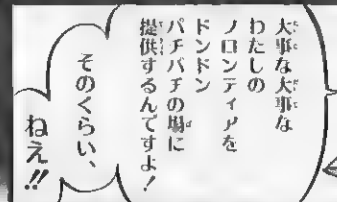
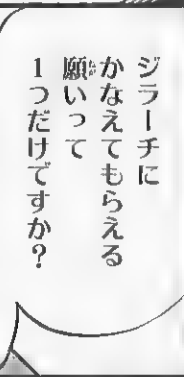
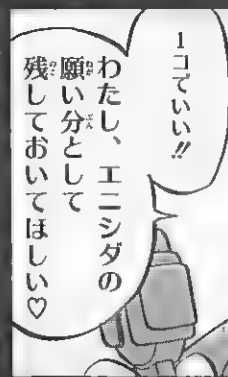
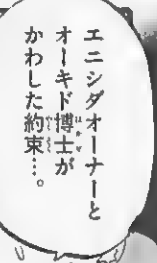
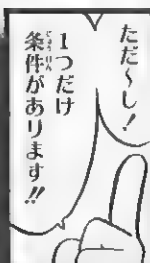
いいでしょう。

ただ～し! 1つだけ条件があります!!

ジラーチにかなえてもらえる願いって1つだけですか?

もしいくつかたのめるんであれば、

1コでいい!!

わたし、エニシダの願い分として残しておいてほしい♡

…で、
オーキド博士は
「うん」と言って
しまった…と。
ああ。
だからキツ～く
クギをさされてる。
「最後の1枚は
絶対使うな!!」ってな。
でも、それでもいいの
わたしたちは。
シルバーが…、
レッドさん
グリーンさん
ブルーさん
イエローさんが、
少なくとも
元の姿に
戻るなら…!
だな。
さあ!!
こっから
分業だ!!
全員、
空飛べる
ポケモンを
全部出せ!!
ハイ!!
ともかく、
飛ばして
ガイルを
引きつける!!
ネイティオが
リーダーだ!!
次!!
クリスは
これだ!!
たのむわよ、
ネイぴょん!!

オシャレ小僧と
野生児ギャルを連れて、
その輪っかの
説明しとけ!!

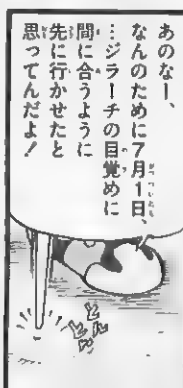
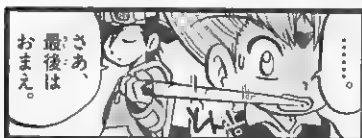
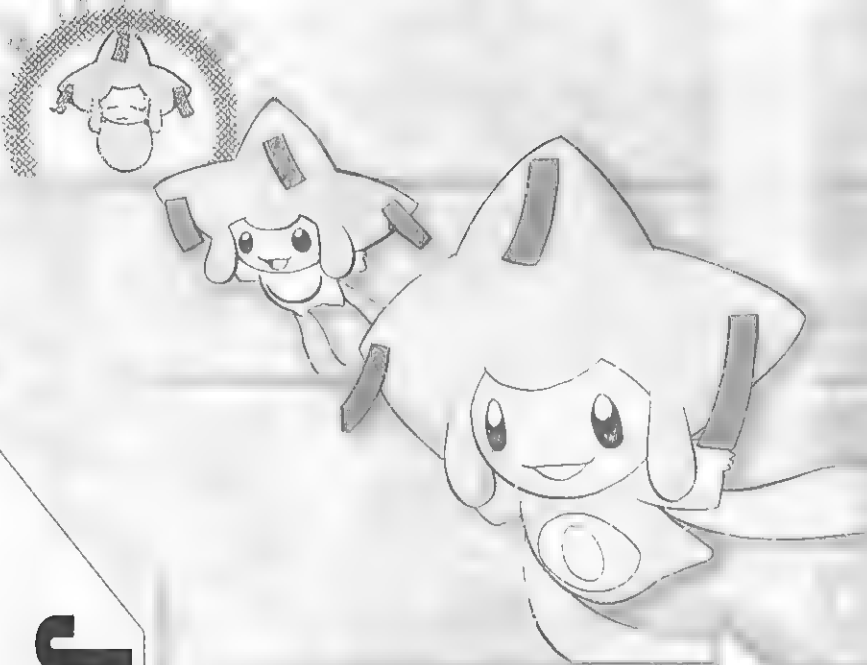
OK!
さ、
こっちよ!!

……。
さあ、
最後は
おまえ。

ジラーチに
願う。
それが
おまえの役目だ。

オ、オレが!?
そうさ。
な、なんて!?
だれが願っても同じじゃ…。

あのなー、
なんのために7月1日、
…ジラーチの目覚めに
間に合うように
先に行かせたと
思ってんだよ!
先発
まかしてんのは、
それなりの
意味があんだよ。
今初めて
ジラーチ見た
オレたちと、
ジラーチ保護のため
数日間戦ってきた
おめーと、
どっちの方が
心が通いやすい?

文句があんなら、役目決めたオーキドのじじいに言いな!!
ゴールドさんは?
オレは後見人よ。
さあ、やれ。
ゴクリ
……せ。
先輩たちの石化を解いてくれ!!
ジラーチ!!!

幻のポケモン・ジラーチ 2

●タイプ　はがね・エスパー
●特性　てんのめぐみ
●図鑑ナンバー　ホウエン：201／全国：385

目覚めの期間（7日間）が経過すると、再び1000年の眠りにつく（または、すべてのたんざくに願いが書き込まれ、それをかなえきった場合も目覚めは終了する）。眠っている時は硬い結晶体が体を包みこみ、敵から身を守っている。が、危険を感じた場合は眠ったまま戦うことも可能である。〝はめつのねがい〟はジラーチだけが使用できる固有の技だ。

JIRACHI

POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

……。

おそるおそる…

あ…、

あれ?

なんの反応もない!
あ…。
え〜と。
あ、そうだ!第3の目だ!

ジラーチ!第3の目を開けてくれ!!
開けてオレと目を合わせてくれ!!
ジラーチ!!

な、
なんでだよ!?
……、
あんな悪党の願いは聞いて…、

オレとは心を通い合わせてくれないのか!?
ジラーチ!!!
さあ、飛ぶわよ!!
えええ!?
たあっ!!
たっ

な、なして
空中に着地
したと!?
ポン
別に空中に
立ってるわけ
じゃないのよ。
わたしの
新しい手持ち、
バリヤードの
バリぴょんは、
パントマイムをしつつ
指先から波動を出し
空気を固めてしまう。
そうやってできた
空気のブロックを
つみ重ねて
タワー最上階への
侵入路を作ったの。
じゃ、今
空気のかたまりの
上に乗ってると?
ええ、
昔、ポケモン・
リーグで
ナツメさんという
ジムリーダーが
やっていたのを、
マネてみたん
だけどね。
階段だけでなく
部屋もあるわよ!
さ、こっちに来て!
部屋?
どうして
そんなものまで?
受け取って!

!?

この隔離された空間の中で今から大至急、修業してもらいます!!

それを受け取りに行ってから来たのよ。
ちょ、ちょっと待って！
つ、つまりボクのZUZUとサファイアのちゃも、エメラルドのジュカインに身につけさせると？
そう！今、ここで！
そげんムチャな…!!
では、「アレ」はどうやって倒すの!?

たしかにすべてを
吹き飛ばすほど
大きなパワーでは
なかったけど、
当たったところは
確実に貫いていた。

うん！
それに
ルビー、
見るったい！

技の
当たったところ。
欠けたままに
なっとると!!

理解できたみたいね？
やれる？

コクン

じゃあ、わたしも
かく乱作戦に
参加してきます！
たっ
時間がないわ！
急いで!!

ネイぴょん!!
キィイイイン

ダメなはずない！何かあるはずだ!!
オレも…、ジラーチに認められて第3の目を開き…、目を合わせてもらえる方法が…！
やるんだ！考えるんだ!!
エメラルド、あきらめねーその姿勢、
オレは好きだぜ。…へへ。

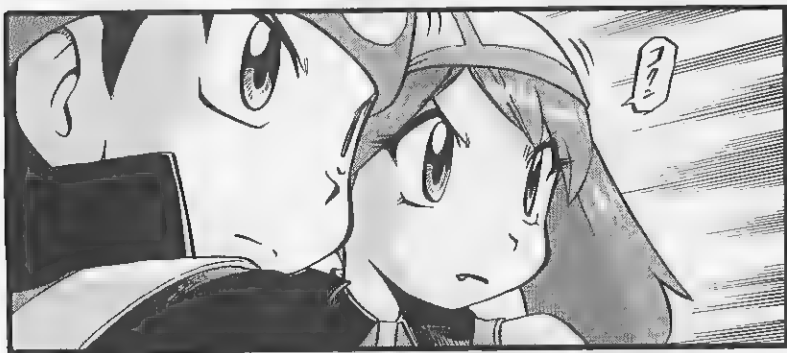
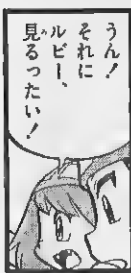
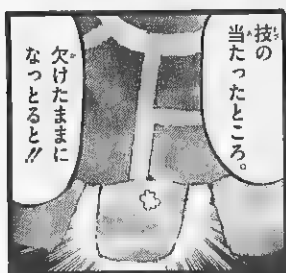
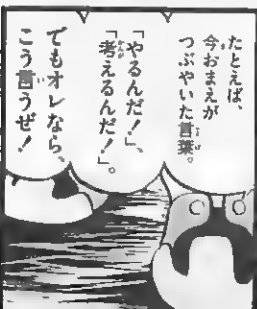
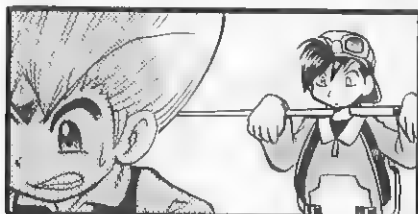
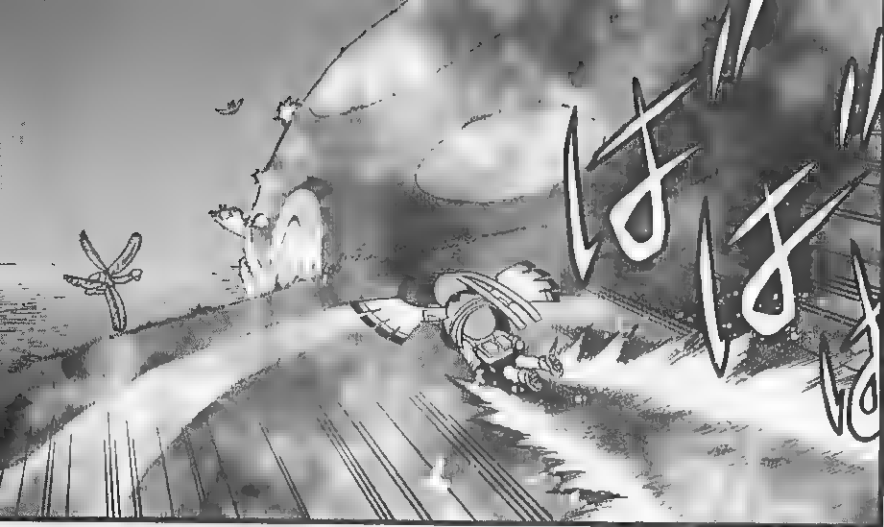
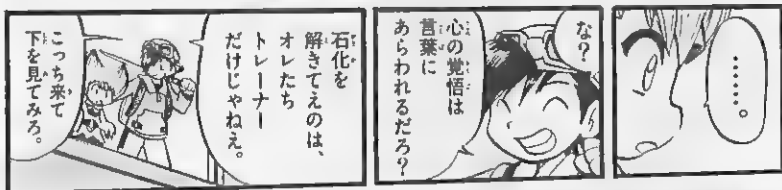
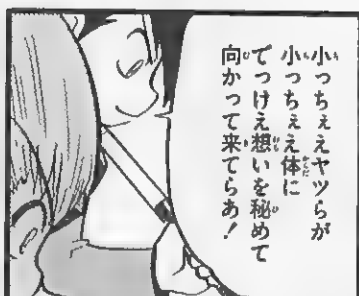
だがよォ、やっぱなんつーんだ？
今イチ、心のふみこみが足りねーのかもなァ。

たとえば、今おまえがつぶやいた言葉。
「やるんだ！」、「考えるんだ！」。
でもオレなら、こう言うぜ！

ただ「やる」んじゃねえ！
「やりとげる」んだ!!!
ただ「考える」んじゃねえ！
「考えぬく」んだ!!!
ってな！
……。
な？
心の覚悟は言葉にあらわれるだろ？
石化を解きてえのは、オレたちトレーナーだけじゃねえ。
こっち来て下を見てみろ。
ザザザザ

他のヤツらは主といっしょにカッチカチだからな！

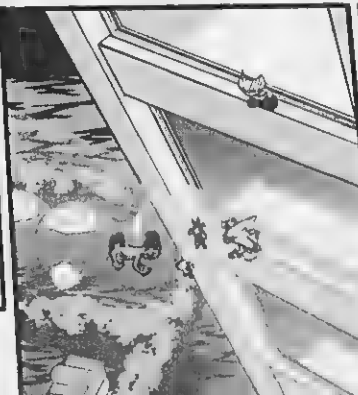
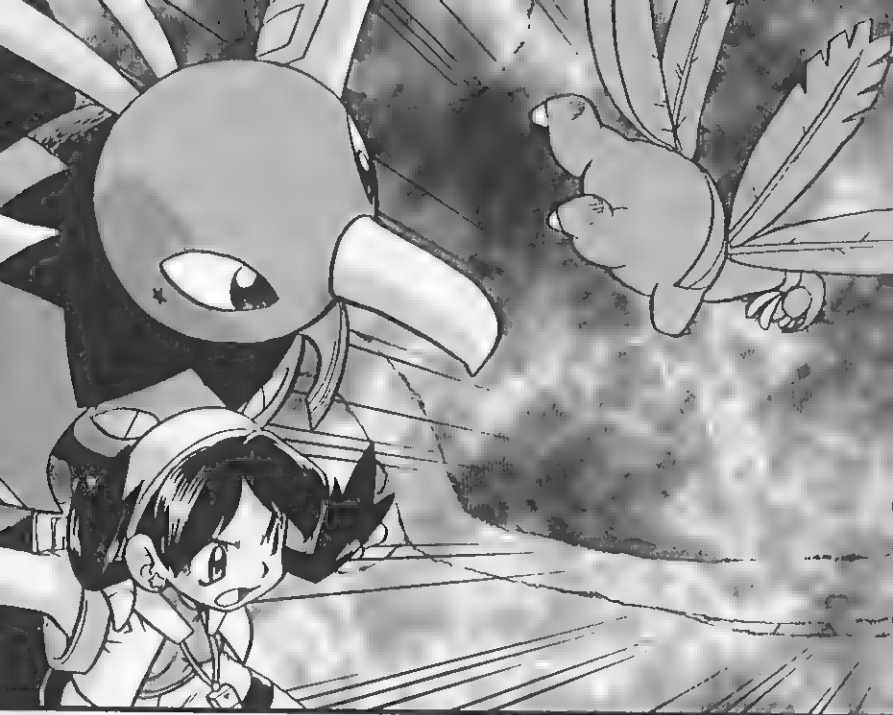
あいつらも石化が解けることを信じてここへ来た！

みんなおめえに期待してるぜ!!

エメラルド!!!

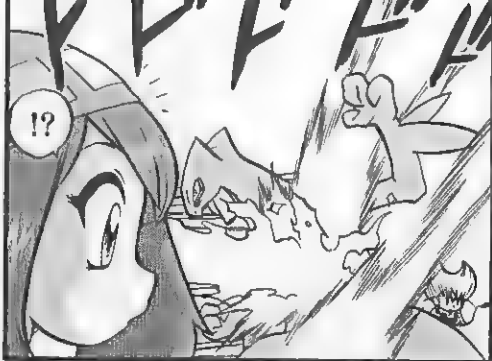
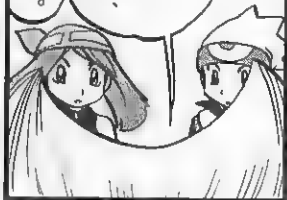
窓の外へ飛び降りてみな！先に降りた2人が究極技習得にはげんでるはずだ!!

まずはそっちから済ませちまいな!!

……
ドドドド

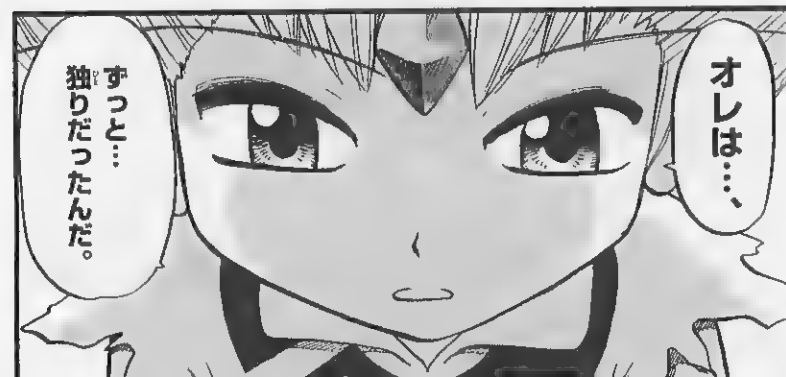
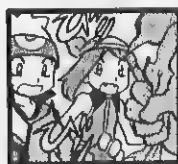
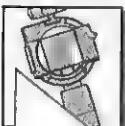
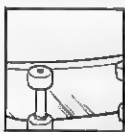
エメラルド、こっちったい!!
ここが階段みたくなっとるけ。
この下は闘技場のごたる広さったい!
すごかねー。
ハイ、これあんたの分の輪やけ…って、本当の腕、どこらへんにあると?

草から水へ
水から炎へ
炎から草へ
それぞれ攻撃する。

つまり、

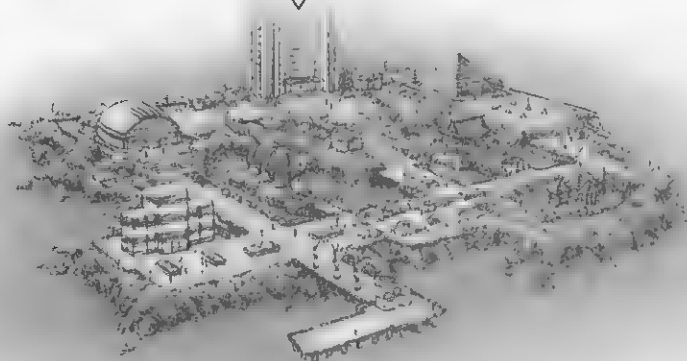
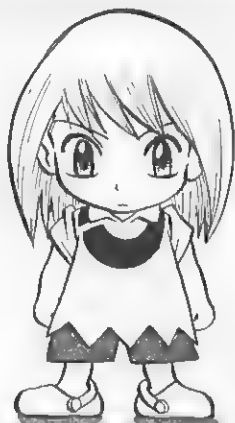
1匹1匹が
自分の苦手とする
攻撃を受けるわけ。
これ以上の効率は
ないよね。

!?
ちょっとエメラルド!
なにボーッとしよっと?
ちゃんとジュカインば見とかんといけんよ!
もう時間がないんやけ!
あ…、う…ん。
……。
…実は…、
…ついさっきジラーチに願いを伝える役目をもらいながら…、実現できなかった…。
…正直に言うと…、ショックで…、
今も心が落ち着かない。
そうだったのか…。
はげましたかけどどげん言えばええもんやら…、
あたしらはアンタのことまだ、よう知らんけ…。
よかったら話してくれん?
アンタがどげん場所で、
どげん想いて、
どげんふうに生きてきたか。

小さすぎておどろいたか？

でもこれがオレだ。

ゴールド GOLD

●出身地…ワカバタウン
●誕生日…7月21日
●血液型…B型
●趣味　…各地の名産品を味わうこと
●特技…スケートボード、キックボード、ビリヤード
●好きな食べ物…グレン風火山ハンバーグ

口は悪いが心は熱いジョウトのポケモントレーナー。かつては「仮面の男との対決」という運命を受け止め、図鑑所有者のひとりとして大きな陰謀に挑んだ。常識にとらわれず 自由気ままな性格なので、『自分勝手』『お調子者』と言われがちだが、困っている人やポケモンは放っておけない。実家はたくさんのポケモンとともにくらす 通称『ポケモン屋敷』だ。図鑑所有者としての代名詞は“孵す者”。

SKB GL

POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

どこへ行ってもバカにされるばかりだったよ…。

オレは…その…、…チビ…だったからな。

手も足も短くて何をするにも届かないんだ。それだけでバカにされたよ。

だからたとえば上の方に取りたいものがあると、ポケモンたちにたのむんだけど……。

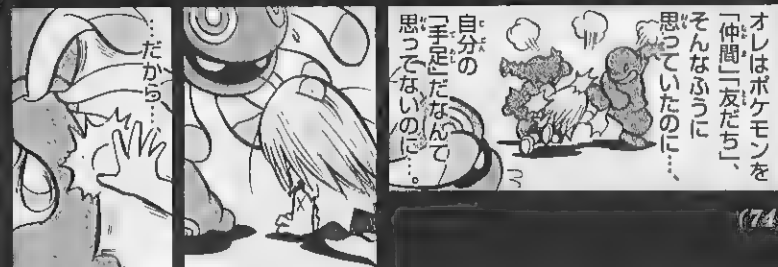
そうすると、

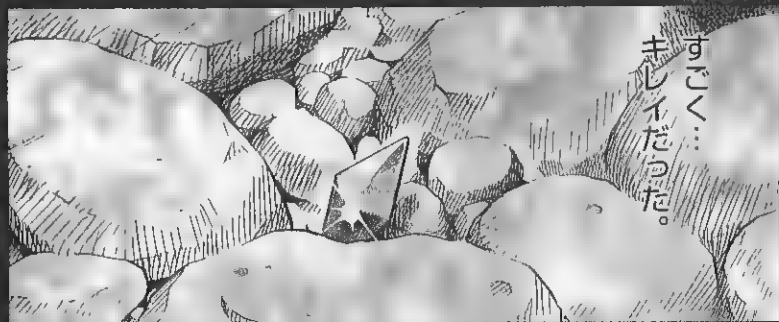
…言われるんだ。

おまえの場合、

ポケモンが「手足」のかわりだな。

その言葉が、

めちゃくちゃショックだった。

そう思われてしまうならもうポケモンを使うのはやめよう、ポケモンを好きになるのはやめよう、
そう、強く心に誓ってその家を飛び出していった。
でも…結局はどうしていいかわからず…、
途方に暮れてしまった。
ま、待ってくださ〜い!ヤナセ教授〜〜〜!!
もったいないじゃないですか〜〜〜。
いいのよ。
レックウザを制御するために人工開発された「翠色の宝珠」。
でもやっぱりダメだった。
協会理事のおっしゃることもわかるけど…、逃がしてしまった事実からしても、科学の力でなんとかできるものではないのかも…。
もし本当にカイオーガとグラードンが激突するとして、それが止めるべき激突ならもっとふさわしい者がふさわしい力で止めるわ。
ヤナセ

そうだ！
新しいオレを
想像しよう！
手足が短いのなら
ポケモンに
たよらない方法で…。

足は長く
なるように、
高い靴をはく！
でも、ただの
高い靴じゃ
ないんだ！
忍者の水ぐも
みたいに
パカッと開いて…。
手も長く
なるように
マジックハンド。
どこまでも伸びて
なんでも
つかむんだ!!
少しでも大きく
見えるように
髪の毛も立てる！
まゆ毛も伸ばす！
最後にこの
キレイな宝石で
額をかざれば…。
できた!!
あたらしいオレ
かみのけをたてる
まゆげものばす
うみやかわをわたるとき
ここにいろいろかくせる
こんなオレに
いつか
なれたら。
うわっほ～!!
なかなか
アイデア
満載の
設計図…！

ぞなね！
オレの絵をのぞきこんでたその人は、ちょっとヘンだけどおもしろくって…。
すてきなアイデアぞな～写真に撮っていいぞなか？
う、うん。
カチャ
カチャ
カチャ
うはひ～！発明魂がうずく～!!そそられる～!!作ってみたいぞな!!
キミキミちょっと足のサイズ測らせて！
な。
ク、クツ屋？
すさんでたオレもなぜか心を開いて、オレたちはすぐに仲よくなったんだ。
お、かわいいポケモンがいるぞなね！
本当だ！あのキノガッサたぶん、トウカの森から来たんだな。
あのバルビートは117番道路出身だよ。
こんな遠くまで…、「渡り」の途中かなぁ。
!?

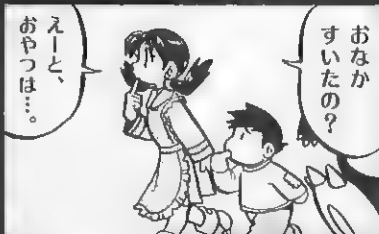
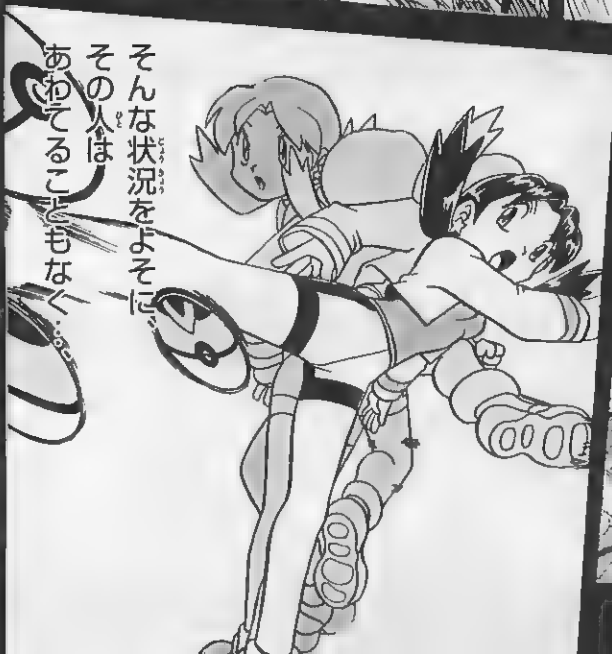
キミはポケモンを見ただけで出身地がわかるぞなか?
あ、うん。
だいたい…だけどね。いっぱいの親せきの間を転てんとしてホウエン中を見て回ったからかな?
オレが自分の境ぐうを話すと、本気で心配してくれた…。
そうぞなか~。
こんなすばらしい能力にめぐまれた子どもがくだらないイジメごときでくさっていたらもったいないぞな!!
よし!わかったぞな!!
かなり遠い場所だけど「ジョウト」という地方にキミのような身寄りのない子を世話する施設があるぞな!
そこを紹介するぞな!!
ここか…。

ジョバンニ先生のポケモン塾…、
ジョバンニ先生のポケモン塾
いくらなんでもボロすぎだろ~~~。
へいなんてあってないようなもんだし。
!
……。
ほらね。
「きのみ」を持たせておけば自分で回復したてでしょ。
ホントだぁ~。
お~~~、いつもすまないアル~~~。
ジョバンニ先生。

ボランティアで塾を手伝ってくれるなんて、本当に頭が下がるアル〜。
とってもとっても助かってマスよ。
そんな…、ボランティアだなんて…。
わたしはみんなと遊んでるだけだし、
それにわたしここが大好きなんです。
安心してポケモンたちと遊べてポケモンのことを勉強できる、こんなステキなところはほかにないもの。
…小さなあこがれがめばえた…。
おねーちゃん!!いっしょに遊ぼ!!
あ、うんすぐ行くわ!!
トイレね?
こっちよ!
おなかすいたの?
えーと、おやつは…。
すりむいたときはまず消毒して…。
しみる〜
さー、みんなで片づけちゃおう!!

突然のできごとに
その場はパニック
だった。

オレも身を固く
していた。

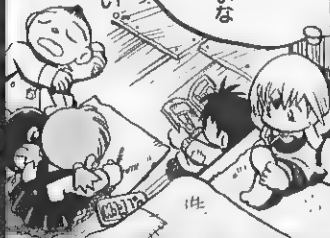
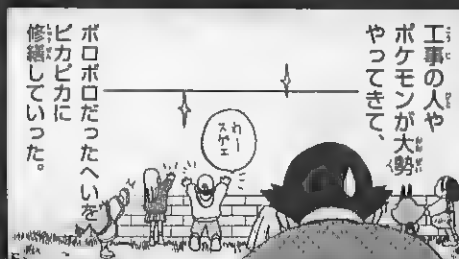
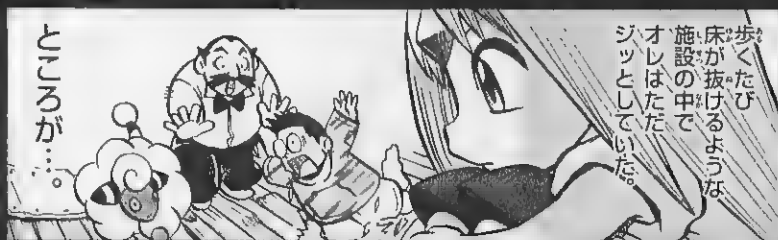
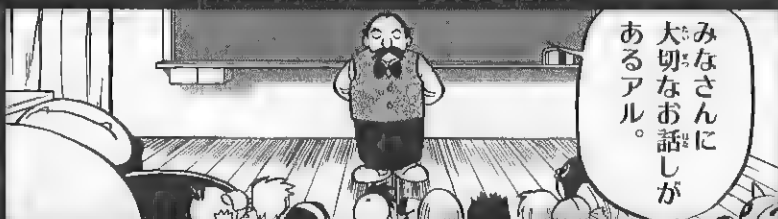
そんな状況をよそに
その人は
あわてることもなく…

すごい足技で
暴れる
ポケモンを、

捕獲した!!

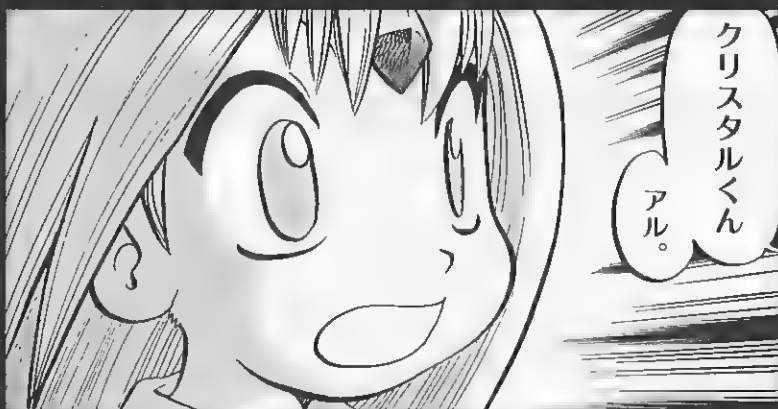
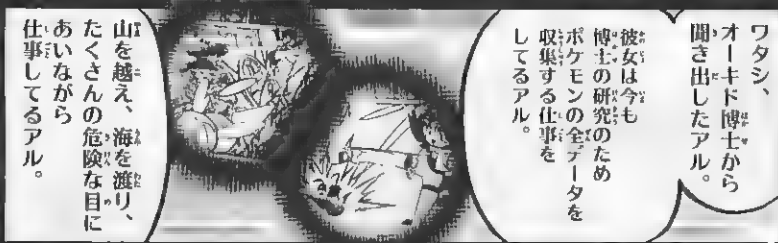
…名前は…
クリスタル
…さん…か。

オレは
彼女のことが
知りたくて
その施設の世話に
なることを決めた。

でも、まあ
ここにいれば、
少なくとも
親せきのところみたいな
イヤなことは
なさそうだ。

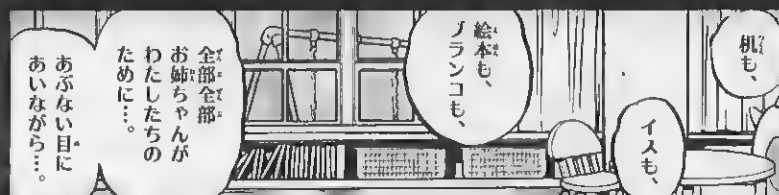
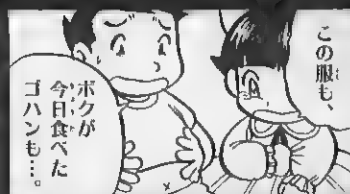
イヤなことはない。
…でも、
すぐになじめる
わけでもない…。

歩くたび
床が抜けるような
施設の中で
オレはただ
ジッとしていた。
ところが…。
数日後、
不思議なことが
起こった。
工事の人や
ポケモンが大勢
やってきて、
わースゲエ
ボロボロだったへいを
ピカピカに
修繕していった。
塾の経営者
ジョバンニ先生
でさえ、
その費用が
どこから出ているか
最初は知らない
様子だった。
同じことが
数日おきに
続いていた。
新しい床が
はられ
壁が打ち直され、
窓には新しいガラスが入り、
庭は整地されて芝生がしかれた。
古い服の子どもには新しい服が、
おなかをすかせた子どもには
いっぱいの食べものが届けられてくる。
本当に
不思議だった。
やがて
施設の設備がすべて
修繕され整ったころ…

その人は、

みんなもよく知ってるボランティアのお姉さん、

ワタシ、オーキド博士から聞き出したアル。

彼女は今も博士の研究のためポケモンの全データを収集する仕事をしてるアル。

山を越え、海を渡り、たくさんの危険な目にあいながら仕事してるアル。

この塾のためになんて…。
この服も、
ボクが今日食べたゴハンも…。
机も、
イスも、
絵本も、ブランコも、
全部全部お姉ちゃんがわたしたちのためにあぶない目にあいながら…。
うわあぁん!!
みんな号泣していた。…けど、オレは…。
なんというかただ…ただ…おどろいた。
自分の得にならないのに「100%他人のためにそこまでする人」なんてオレはそれまで知らなかったんだ。
クリスタルさん…。

あこがれが
尊敬にかわった
瞬間だった。

あの人から学ぼう！
なんでもいい！
なんでも吸収しよう!!

ウバメの森で起きたという
大きな事件を解決し
もどってきたクリスタルさんに
オレははりつきたがった。

しかし、
オーキド博士の助手として
引き続き働くことになった
クリスタルさんはいそがしく
相手にしてもらえるか
不安だった。

ひらめいた!!

オレも
オーキド博士の
手伝いをするって
いうのはどうだ!?

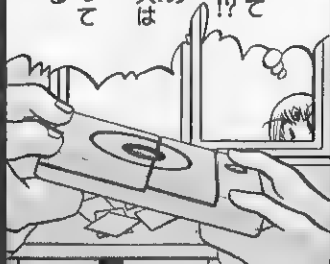
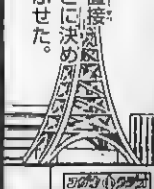
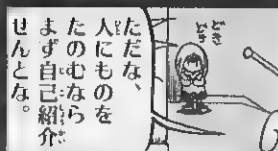
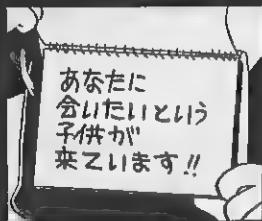
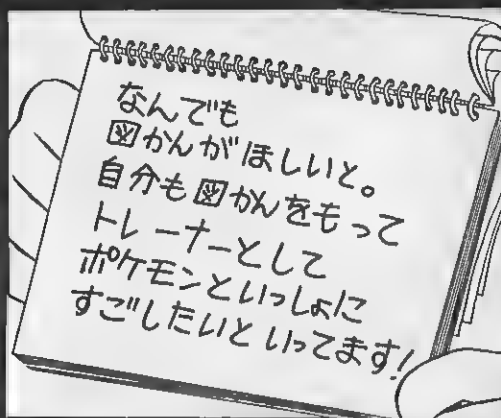
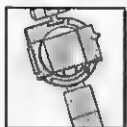
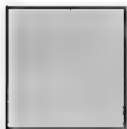
オーキド博士の
手伝いをする人は
「図鑑」とか
いうのをもらって
データ集めする
らしいから…。

オレも
それをもらう
ってのは…!!

オレは
オーキド博士に直接
アタックすることに決め
ラジオ局で待ちぶせた。

はかせ!
あなたに会いたいという子供が来ています!!
なんでも図かんがほしいと。自分も図かんをもってトレーナーとしてポケモンといっしょにすごしたいといってます!
よしよしおいて。
どきどき
ただな、人にものをたのむならまず自己紹介せんとな。
さて…、
そろそろきみの名前を教えてもらおう!

クリスタル CRYSTAL

- ●出身地…キキョウシティ
- ●誕生日…4月30日
- ●血液型…A型
- ●家族…母親
- ●特技…ぼんぐり収穫
- ●趣味…読書

ポケモン捕獲の専門家として博士からの依頼を受け、図鑑完成に挑戦したトレーナー少女。図鑑所有者としての代名詞は“捕える者”。人を思いやる心を持つ優しい性格。ジョバンニ先生のポケモン塾でボランティアをするなどの献身的な面と、チームを率いて目的のポケモンを確実に捕獲するという仕事人的な面を合わせ持つ。現在はオーキド研究所で助手として働く。

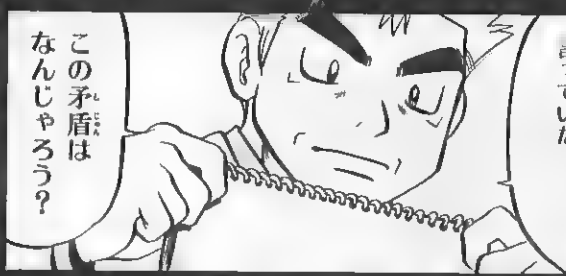
POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

オーキド博士ば直接、たずねたと!?
図鑑ばもらうために!?
ボクらが図鑑を手にするよりも前に?
うん。
ただ…、
そのときは結局もらえなかったんだけどね。
え!?

さて…、
そろそろキミの名前を教えてもらおう。
そろそろ?
すでにあの子の存在を知ってたかのような言い方だが…。
なんならこっちから言おうか?
ポケモン塾のエメラルド。
オレのこと知ってるのか!? もしかして博士の方でも図鑑をくれようとしてた!?

じゃ
遠慮なく、
もーらい…。
おっとォ…。
ひょっ
「あげる」とは
言っとらん。
そもそも
聞かれなければ
名を名乗れん時点で
落第じゃ!!
ありゃりゃ〜?
実は
ジョバンニくんから
最近の塾の様子を
聞いたとき、
キミの話が出てのう。
「額にみどり色の
宝石をつけた男の子」
「ぜんぜんまわりに
なじもうとしない子」
が、いる…と。
キミを見てすぐ
「ああ、この子だ!」
と思ったよ。
聞くところによると
まだ8歳だそうじゃないか。
そこまで
幼いとなると…、
まあ、まず
図鑑を渡せんよ。
じゃが、それ以上に
わしが気になるのは…、

キミの言葉に含まれているちょっぴりのウソじゃ。

なんでも図かんがほしいと。自分も図かんをもってトレーナーとしてポケモンといっしょにすごしたいと いってます!

…わしはのう、どんな人にもその人だけの能力や生き様があると、思っとる。

ポケモンとの関わりしそうじゃ。

10人いれば10通りの関わりがあるじゃろう。

……。

キミだけの道を見つけなさい。

ピッ

それができたらもう一度図鑑を渡すか考えよう。

仮登録だけはしといてやろう。

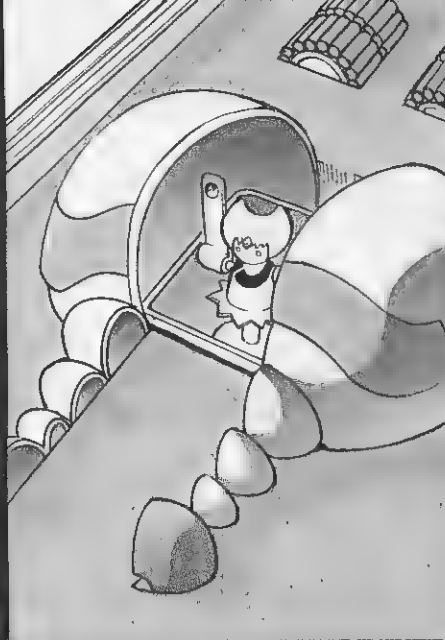
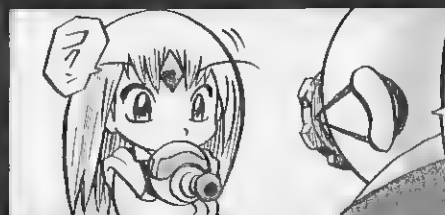
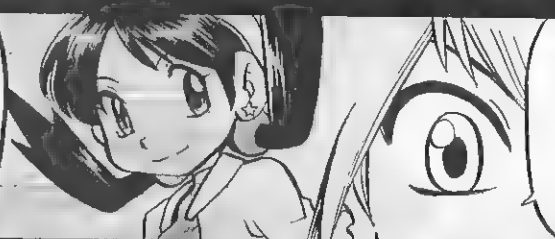
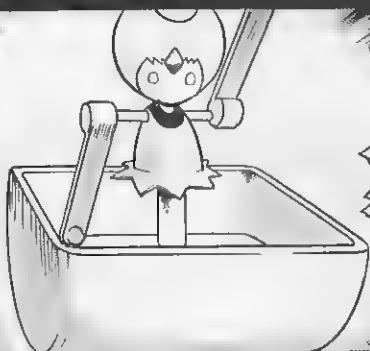
オレだけの道。オレだけの能力。オレだけの生き方。

…オレだけのポケモンとの関わり…か。

相談できる人はひとりしかいなかった。

なあ、どう思う?

そうそなねー。

「キミにとって
ポケモンとは
なにか!?」
…ってこと
ぞなよね！
…そうなんだよね。
ゴメンな、クツ屋。
こんなことでわざわざ
ジョウトまで
来てもらって…。
あの…
わがはい、クツ屋じゃ
ないぞなよ。
それに地方を越えて
ここまで来たのは、
なやみを聞く
ためだけじゃ
ないぞな！
え？
できあがった
コイツらを
届けたかった
からぞな!!
あ〜〜〜〜!!!

ほ、本当に
作ってくれたのか!?
オレがかいた
設計図通りに!!
ウォッホン!
まさか
本当に!!
!?
これ…、
なんだ?
それだけは
キミの設計図には
なかった、
わがはいオリジナルの
カラクリぞな。
何に
使うものか、
知りたいぞなよね?
フクン
キンセツの河辺で
出会ったとき、
キミはたくさんの
ポケモンの生息地を
ひと目で見ぬいたぞな?
う、うん。
わがはいは
感じたぞなよ。
さっき
「キミだけの能力は
何?」って話
してたぞな?

その特技はまちがいなく、キミだけのもの。
オンリー・ワンな能力じゃぞな!!
たださびしいことを言うと…。
もし出身地を当てられるだけでおしまいなら、
クイズ大会くらいでしか役に立たないぞなね。
やっぱり「能力」はだれかの役に立ったり何かを助けたり、
そこまでいって初めて「活かした」と言えるぞなよ!
だれかの役に立ったり…。
何かを助けたり…。
そう!だから考えたぞな!
たとえばここにわれを忘れて暴れてるポケモンがいるとする。
落ち着かせてあげるためには、どうするぞな?
う〜〜ん。

発射された「土の弾丸」は暴れるポケモンの周囲に「陣」を作る！ポケモンを囲む‼

なつかしい故郷の香りに包まれ心が和む…ってわけぞな。

何かの苦しみからポケモンを解放…。

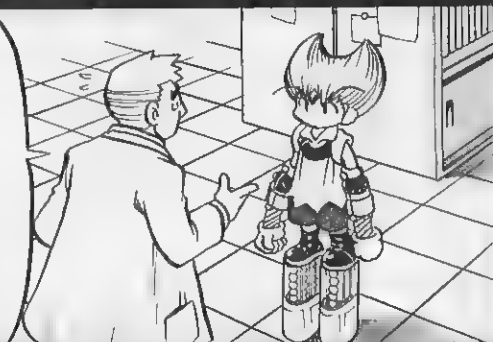
これでオレの特技が役に立つのか…！

…オレのために…。

こんなすごいもの考えてくれて…。

礼はいいぞな‼

それに、正確にまえばゼロからわがはいが考えたんじゃないぞな！
わがはいも若い頃、カラクリ修業で遠〜い地方まで旅して、
これはそこで見た道具をヒントにして作ったぞな！
さ、身につけてみるぞな。
腕と脚にカラクリをセットして、
髪はワックスで立てて、
グイ
ハイ！しゃっきり背筋を伸ばして。

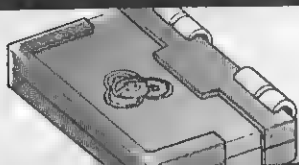
そっから先は
修業、修業、
修業さ!!
クツ屋のくれた
腕や脚を
使いこなし…!!
出会ったポケモンの
出身地を見ぬく力、
暴れてる
ポケモンを
しずめる技術。
バトルの技術。
それらをもっと
磨こうとただひたすら
1人で…!
博士に
胸をはって
「これが
オレです!」
と言えるように!!
それが
オーキド博士に
伝わり、
いよいよ正式に
図鑑をもらえる
ことになったん
だけど…。
すまん!
エメラルド!!
キミを所有者登録した図鑑は
今、ホウエンの研究者、
オダマキ博士の元に
あるんじゃ。
送り返してもらうまで
もう少し待っていてくれんか?

いいよ！
オレが自分で取りに行くから！
8月24日。
なんだあ、この大雨!!
待ち合わせの時間に間に合わないよ～!!
あ、あれだな！
お～い!!

目の前でオダマキ博士が流されてまたまたおあずけさ。

だからオレがこの図鑑を手にできたのは、本当についこの前なんだ。

5月31日。

そしてバトルフロンティアの完成を知り、

挑戦に行こうとした矢先…。

ジラーチの目覚めの日と場所がバトルフロンティアプレオープンと重なることがわかって。

あなたもほこり高き、

図鑑所有者の1人…！

10人目の図鑑所有者なのよ!!

10

…やっぱりオレはこのあたりが限界だったのかな…。
ジラーチが第3の目を合わせてくれないんだから…。

そんなことなかよ、そして…話してくれてほんまのこつうれしか!

パア。

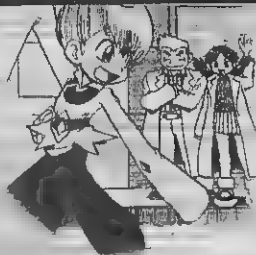
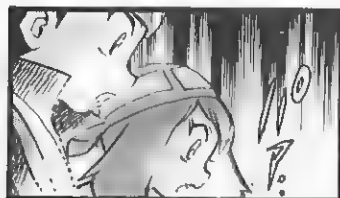
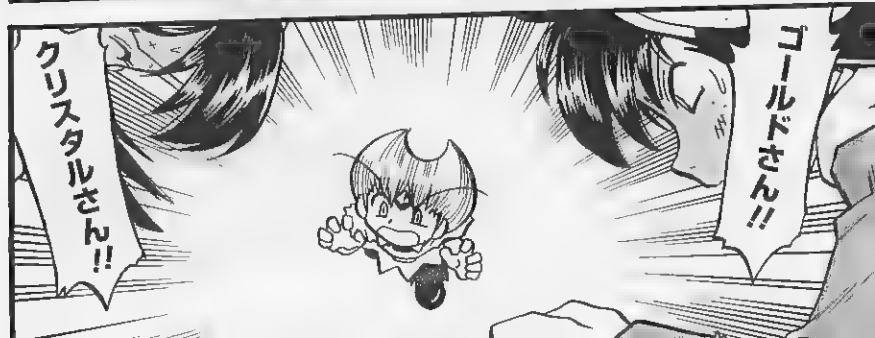
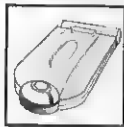
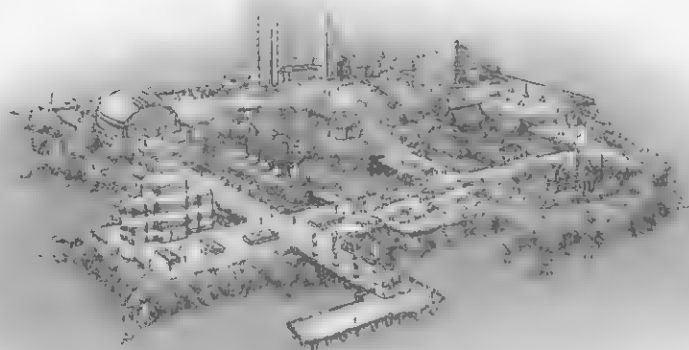
輪が…!!
この光、もしかして……。
奥義が現出する瞬間じゃなかと!?

3匹の様子も…、
何か反応が…!!

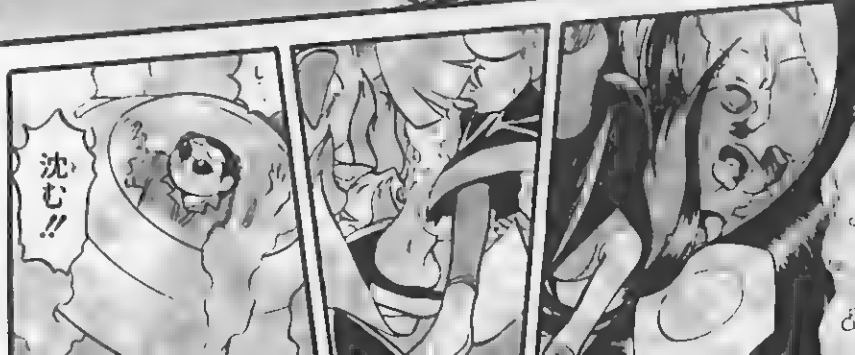
ヒュン!!
やった!!

ドン!!
ゴールドさん!!
クリスタルさん!!

ルビー RUBY

●出身地…コガネシティ
●誕生日…7月2日
●血液型…O型
●特技…裁縫、ポロック作り
●家族…父（センリ）、母
●制覇…ホウエン全コンテスト（5部門×4会場）

ホウエン地方でコンテスト制覇を成し遂げた図鑑所有者。もとはジョウトの出身だったが父のジムリーダー就任を期に母親とともに引越してきた。コンテスト制覇に挑戦する中で地方全体に迫る脅威を知り、それまで毛嫌いしていた戦いに身を投じる。父・センリゆずりのバトルセンスはかなりのもの。（しかし、現在でも「美しさが信条」という点は変わっていない）

SKB GL

POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

時間かせぎはよォ…、しっかりやってやったぜ。
その分、ちゃんと究極技は身につけたんだろうな？後輩ども…。
しぶといヤツらめ！
いけっ!!
ズ
ズ
ズ
ズ

沈む!!

ザザザ
クカカカカ!!
すばらしい!
すばらしいぞ!!
願った以上の力だ!!!
ゴゴゴ
…それにしても、
バリヤードが
空気を固めて
作った
ブロック壁とは…。
フッ
コッ
わたしの…、
バトル
フロンティアが!!
ゴァァァ
そこに隠れて、
究極技の
習得だと?

こざかしいわ!!
撃てるものなら
撃ってみろ!!
海と一体化したものの
どこに当てる気だ!?
…くっ!
うう…。
よくも…。
よくも
クリスタルさんを…!
いけえ!!

クカカカ!!
かはっ!!
ドッ
ド
ド

やめろ…、

足をどけろォオ…！

んん？

おかしなことを…。

ぐっ!!

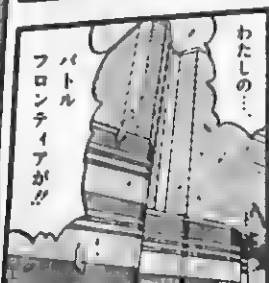
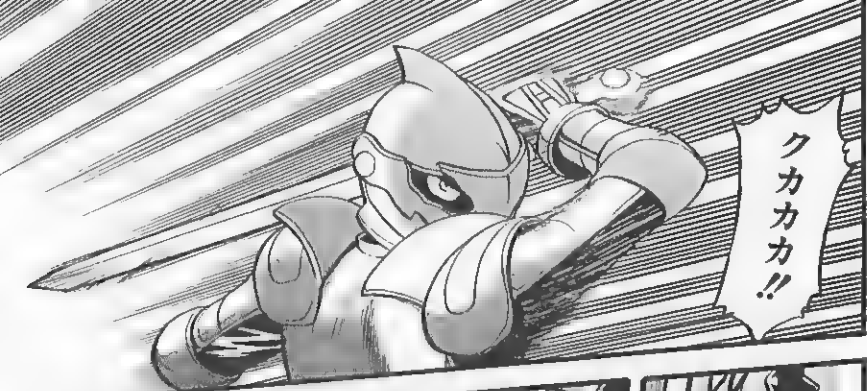
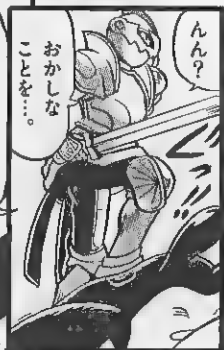
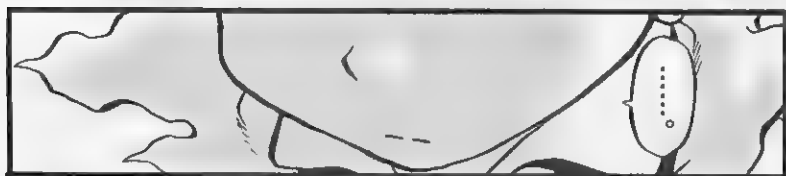
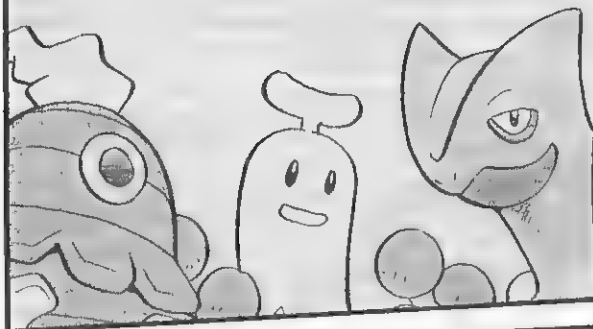
おまえはポケモンが好きなのではなく、

ポケモンバトルが好きなのだろう？

ところどころで聞いていたぞ、
おまえのその主義をな。

こいつらには戦う力など一片も残されていない。ポケモンバトルをすることなどとうてい望めない。

だったらもう用済みだ、捨ててしまえばいい。
ポケモンなぞいくらでもいる。
ポケモンが好きなのではなく、バトルが好きなのであればなんの問題もない。
傷ついたものは捨ててしまえ。その方がよりよくバトルができるではないか。
人も同じだ。動かなくなったただのカタマリを後生大事に取っておいても、
邪魔なだけだ。

そうだろう?
……。
……。
ちがう。
オレは…、
欲しかったんだ。
本当は…。

いっしょに
心を通わせ合える
仲間や友だち、
同じ想いをもって
絆を結べる相手が…、
ずっと…ずっと、
欲しかった…!!

オレはポケモンバトルが好きなんじゃない!!

ポケモンが好きなんだ!!!
ポケモンを好きな人が好きなんだ!!!

図鑑が鳴り始めた!
共鳴音!?
うん!
でもヘンだよ。
今が集まった瞬間なら
わかるけど…、
なんて急に?
音もいつもとちがうし…!
オレのも
鳴ってるぜ!
わたしのも!
5つて
共鳴している!?
あ、待って!
5つや
なか!
別の
場所からも
聞こえとう。
6、
7、
8!
9!!
10!!!
10か所で
鳴りよると!!
ポケモン
図鑑の、
10機共鳴!?

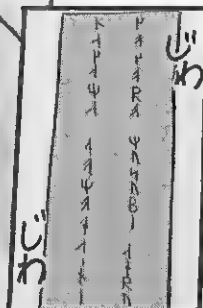
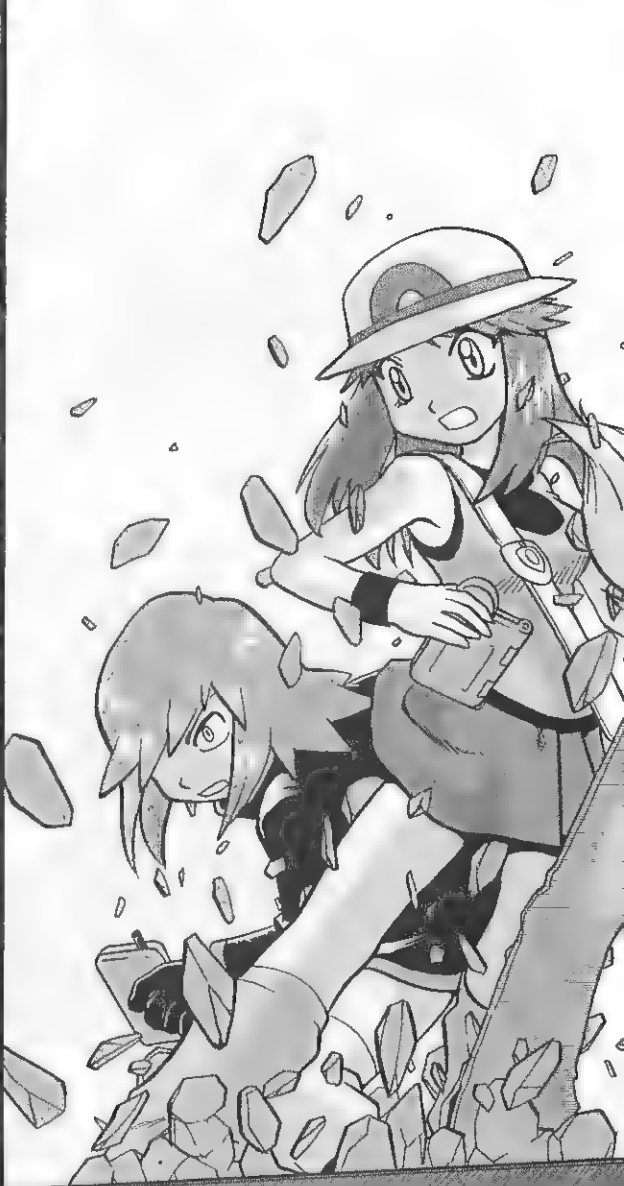
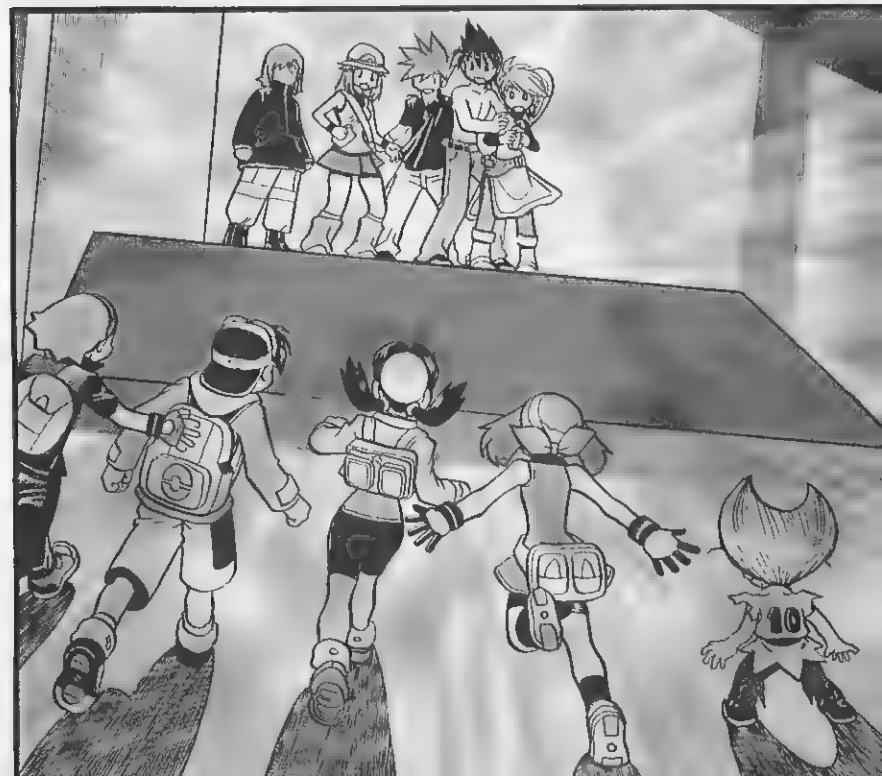
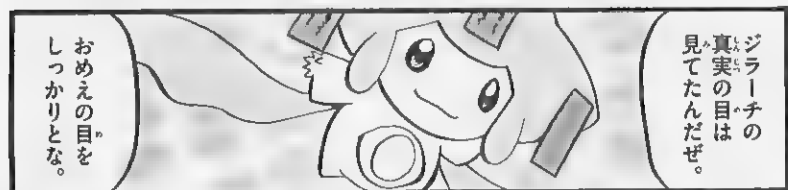
キュウオオオオオ
まさか…。
ジラーチ!?
じわ
じわ
じわ…

え…。
む…。
…あ。
うん…。
…ふ…。

石化が…解けた…。
願いが…、
かなった…。

やったな！エメラルド
自分っていう存在について「考えぬき」、そして「やりとげた」。
おまえが心にズドンとくる叫びをあげた瞬間、

ジラーチの真実の目は見てたんだぜ。
おめえの目をしっかりとな。

●出身地…ミシロタウン
●誕生日…9月20日
●血液型…O型
●特技…木登り、崖登り
●家族…父（オダマキ）、母
●制覇…ホウエン全ジム

フィールドワークで知られるポケモン研究者オダマキ博士の娘。父の研究を手伝って野山をかけめぐり、大自然パワーを身につけた。ふつうの人間では感じないわずかな感覚をとらえる目、耳、鼻。木の実にもくわしく、またポケモンの糞のにおいから健康状態をさぐることもできる。全ジム制覇に挑む賭けの途中、超古代ポケモンの復活を知り、ルビーとともに戦いに挑んだ。野生の能力を持つ一方で、本来の心はとても女性的。

POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

よかった！
みんな、無事だったんだな!!
レッド先輩、あと、これっス！
ところで、ここはどこだ？
ええと、オレたちはたしかナナシマからクチバへ戻ったあと不思議な光を浴びて…。
レッド！話はあとだ!!

どうやらまた…、
退けるべき「悪」に出くわしているらしいな、
オレたちは。

行け!!
ものども!!

逆らう者を一掃しろ!!!

わかったか!?
愚か者ども!!
そして、
この地が沈むこともまた、止められないことと知れい!!
な、なにあれ…!?
ドパァァ
ゴボ
ゴボ
ゴボ

ハァ…ハァ…
「しばらく会ってない
ジョウトの2人も含めて
9人で集まってみたいね」
って言ったけど…、
まさか
こんな状況で
実現しちゃうなんてね！

プラス1人で、
今は
10人です、
ブルーさん！
10人!!

おっと！
む。

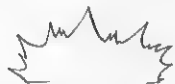
シルバー、
おめえのその
腕の輪っかはよォ…、
わかっている。

他の4人は
どうだったか
知らないが、

オレは
動けぬ間も
意識があった。

げ。

カ～～～～!!

マジかよ～!
固まってると
思ったから、
「ダチ公」って
言ったんだぜ～!!

せ、せっかくこうして10人集まったのに

みんなで無事と出会いを喜び会えないのが…残念です…!!

いやいや、喜びあいましょーや。麦わらくん…いや、イエロー先輩!

そのためには、アンタにもがんばってもらわなきゃなんねえ!!

!?

でも、どうするんです!?「アレ」は海そのもの!!
全員攻撃で吹き飛ばそうにも、今みたいに海中にもぐられたら狙いようがない!!
おまけにこの通り一歩も進めないじゃないですか!!
どげんすっと!?何か解決策はなかとか?ゴールドさん!
あ〜〜〜〜〜。
今はまだ思いついてねえ。
……。
そんな無計画な…!!
待ってくれ!!
そういうことなら、
オレに考えがある!!
ゴールドさん!頼みたいのは…。
ゴオッ

何度言えばわかる。
図鑑所有者が10人に増えようが、策を講じようがムダなことだと!
あ・・・!!
ジラーチ!!!
私が驚いた、と言ったのは・・・、
ジラーチのことだ。
知らなかったな、かなう願いはたんざくの数だけ。
つまり・・・、
まだ1枚残っている。

クカカカ。

野郎!!
かならず
とっとけって
言われた最後の
たんざくにまで…。

ガシャ
ガシャ

わかった!!

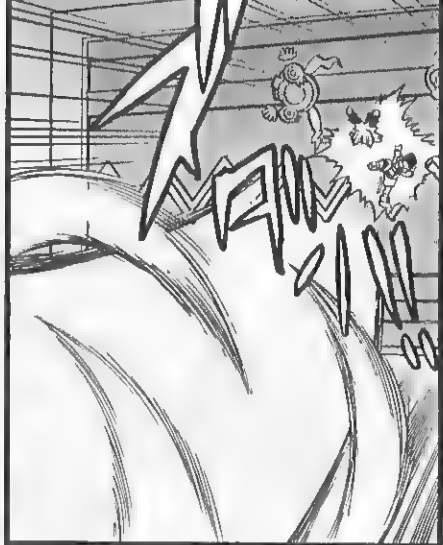
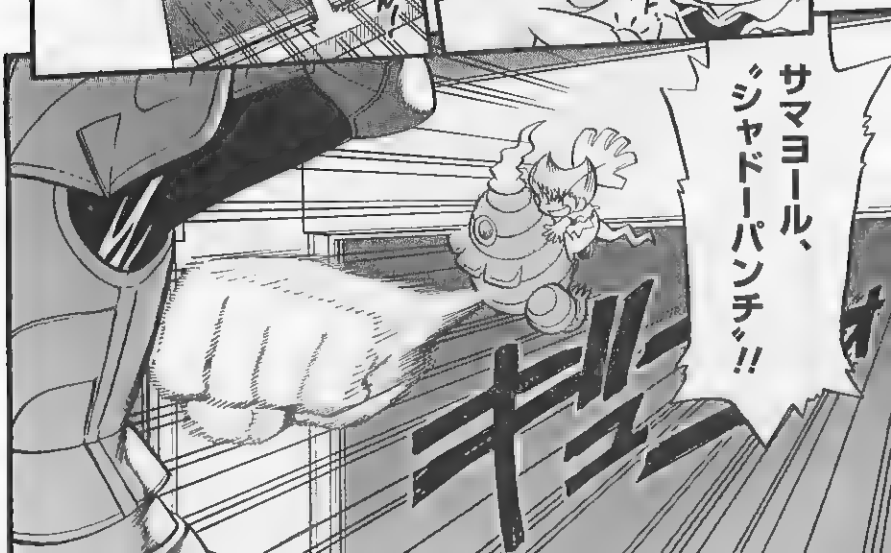
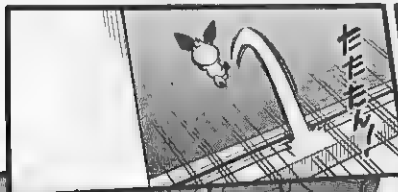
ゴールドさん!
さっき話した
準備に入ってくれ!!
オレはガイルを
追う!!

ピチュ!!

ポン

たたたん!

サマヨール、
“シャドーパンチ”!!

ギューーーオ

…愚かだ。
愚かすぎる。
この方法て、何度も何度も技をはじかれておろうが!!
ジラーチを保護する任務すら、まっとうできなかったのだ!
もうあがくのはやめて、降参しろ!
…そうだ。
そのジラーチ自身にとどめをさされる、と言うのもおもしろいな。
…!!
ジラーチは私が捕えた。
放り出しはしたが、まだ「逃がす」とは言っていない。
今でも私の手持ち。どう使おうと私の自由だ。
そうだろう?

〝はめつの…、ねがい〟!!!

エメラルド!!

?
何も起こっていない。

知らぬのか?この技の効果は放ったタイミングから遅れて出ることを。

ちょうどいい!加勢に来た仲間もろとも、吹き飛ぶがいい!!

来るなア!!

クカカカカ!!
見事な直撃だ!!

汚ないぞ!!
戦うなら、
オレと戦え!!

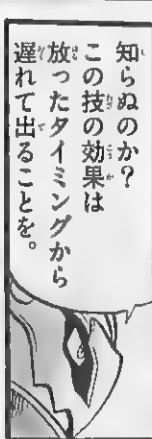
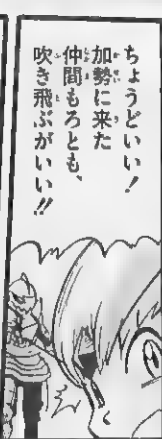
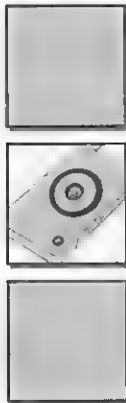
ゼェ
ったくだ…、
汚ねえ手
使いやがる…。
ゼェ

わかったよ、
…ガイル…。
やめだ…。
降参する…。
ゼェ

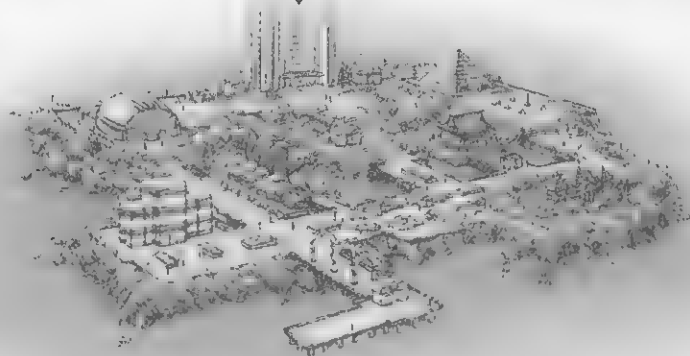
〝かげぶんしん〟!?

オ
オ
オ
オ

シルバー SILVER

●出身地…トキワシティ
●誕生日…12月24日
(サカキとの再会により判明)
●血液型…AB型
●家族…父(サカキ)

謎に包まれた自分のルーツを探していたトレーナー。幼いころ仮面の男に捕らえられていたことで、出生のかなりの部分が不明であったが、ついに父・サカキと再会、ひとつの想いを乗りこえた。
高度で専門的な訓練を受けたことでポケモンバトルはもちろんのこと、ポケモンの「交換」に関する特別な知識を持っている。図鑑所有者としての代名詞は“換える者”。逆境の中で培った強い心を武器に、常に運命に立ち向かう。

POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

すだだだだ
おのれ…!!
どこだ、本物は…!?
右!?
左!?
し…
下!?

オレのニョロが技を受ける覚悟で突っ込み、ギリギリで〝かげぶんしん〟でかわす！
そのスキをついて、オレのニョたろうが死角に入り一撃をくらわす。
とっさによく指示を合わせてくれたな、ゴールド。
な〜に言ってんスか！シロガネ山でさんざん練習したコンビネーションでしょ？朝メシ前っスよ、レッド先輩！

があああ!!!
めき
めき
めき
めきぃ!

きゅっ
ダッ

ヒュー
どうだ?
軽く
なったろ?
お返しだぜ!
さあ、
今しかねえ!!
準備は
できてっか?
後輩ども!!

できてます!!

く〜〜〜!
ほれぼれする並びだぜ!!
今、そっちへ行く!

言われた通り並んだけど…。
そうったい! 海の中にいる「アレ」は、どげんしてひきずり出すと!?

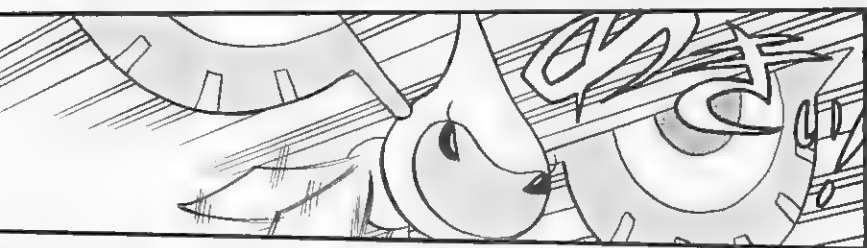
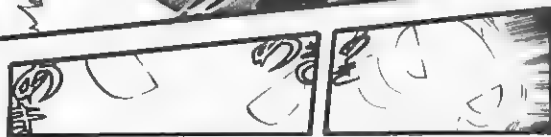
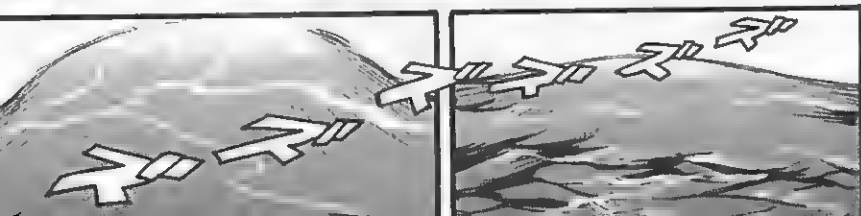
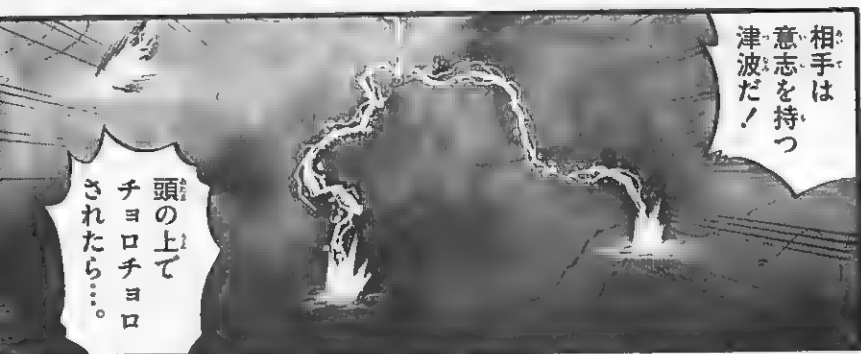
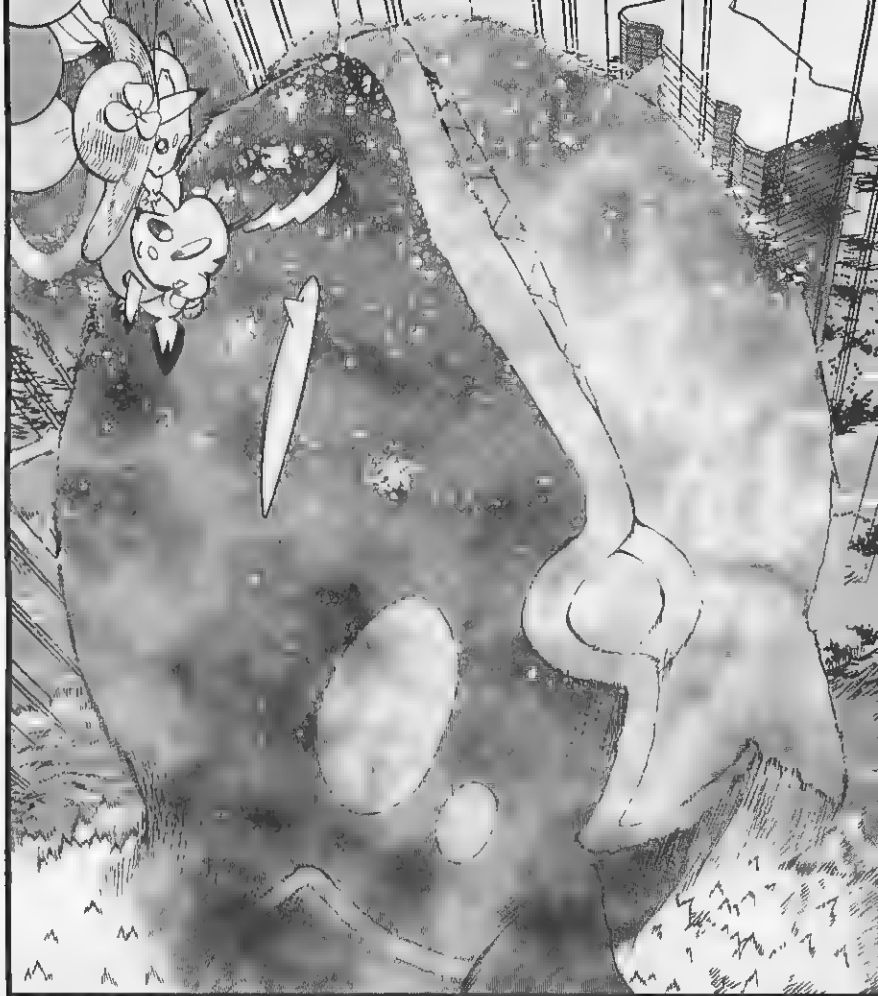
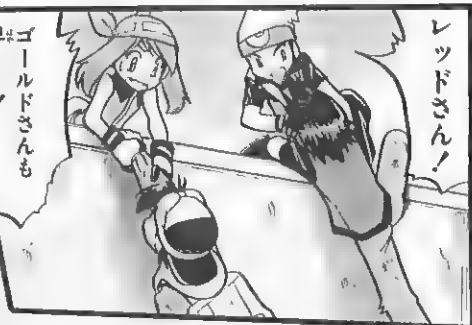
それは大丈夫!

オレのピチュが下まで来ていたピカチュウ2匹と合流して、
3匹で「アレ」を挑発している!

準備OKったい!!

よし！うまく引きずり出したぞ!!
撃てる!!

レッドさん!
ゴールドさんも早く…!!

…させん…。
絶対させん…!!

あれだけの量のポケモンを退けただと?
だとしても…、
このフロンティア中のレンタルポケモンを呼び寄せるだけだ。

やれよ。

何匹でも呼び寄せろ!
でも…、
1匹たりとも、おまえの指示には従わないぞ。
なに!?
なぜだ!?

このフロンティア全体を!!!

納得したか？ドサンピン！
じゃ…、
あ・ば・よ！
エメラルドくんの切り飛ばされたマジックハンド…。
ああいうヤツだ。
おっしゃあ!!
ぶちかませぇ!!

おおおおお!!
今、撃つ!!
一斉に!!!

三連弾〝水の究極技〟!!!

三連弾〝炎の究極技〟!!!

三連弾
"草の究極技"!!!

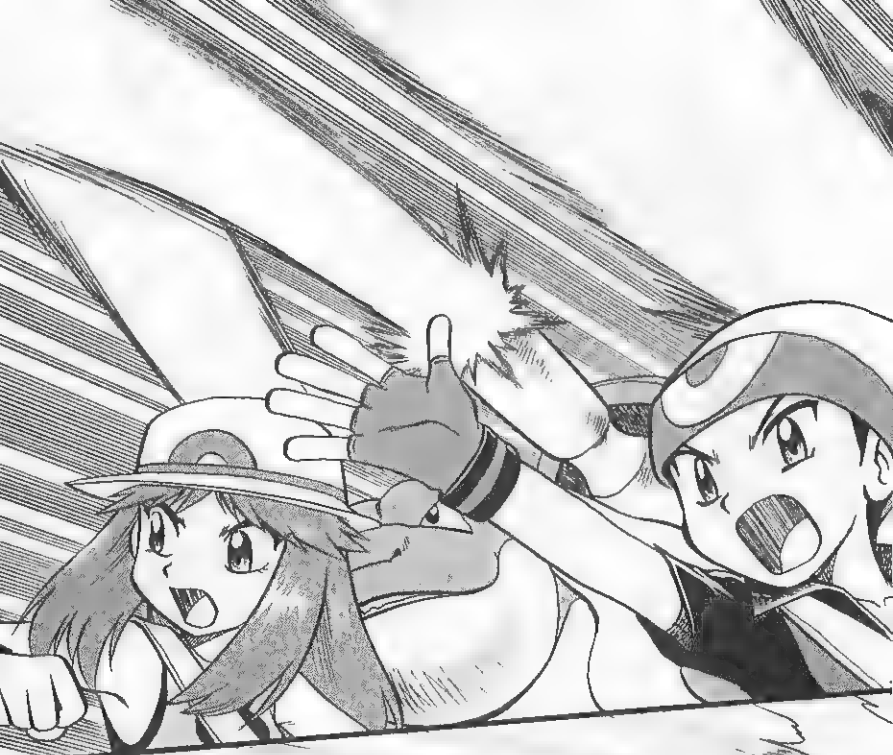
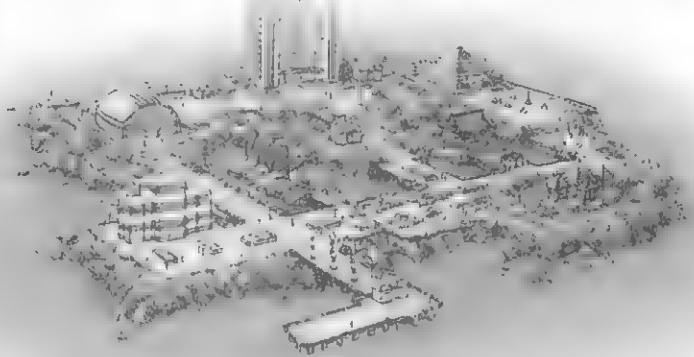
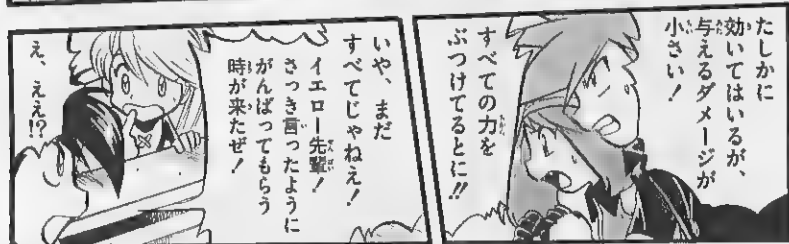
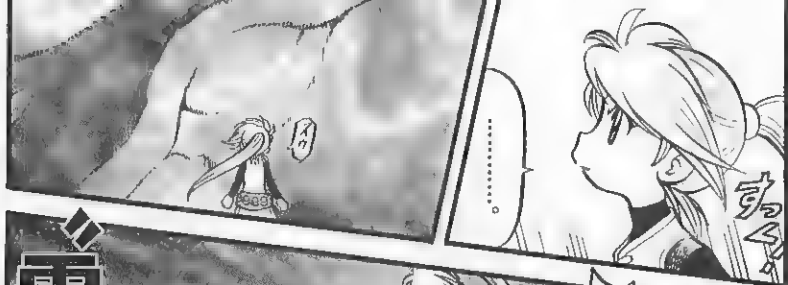
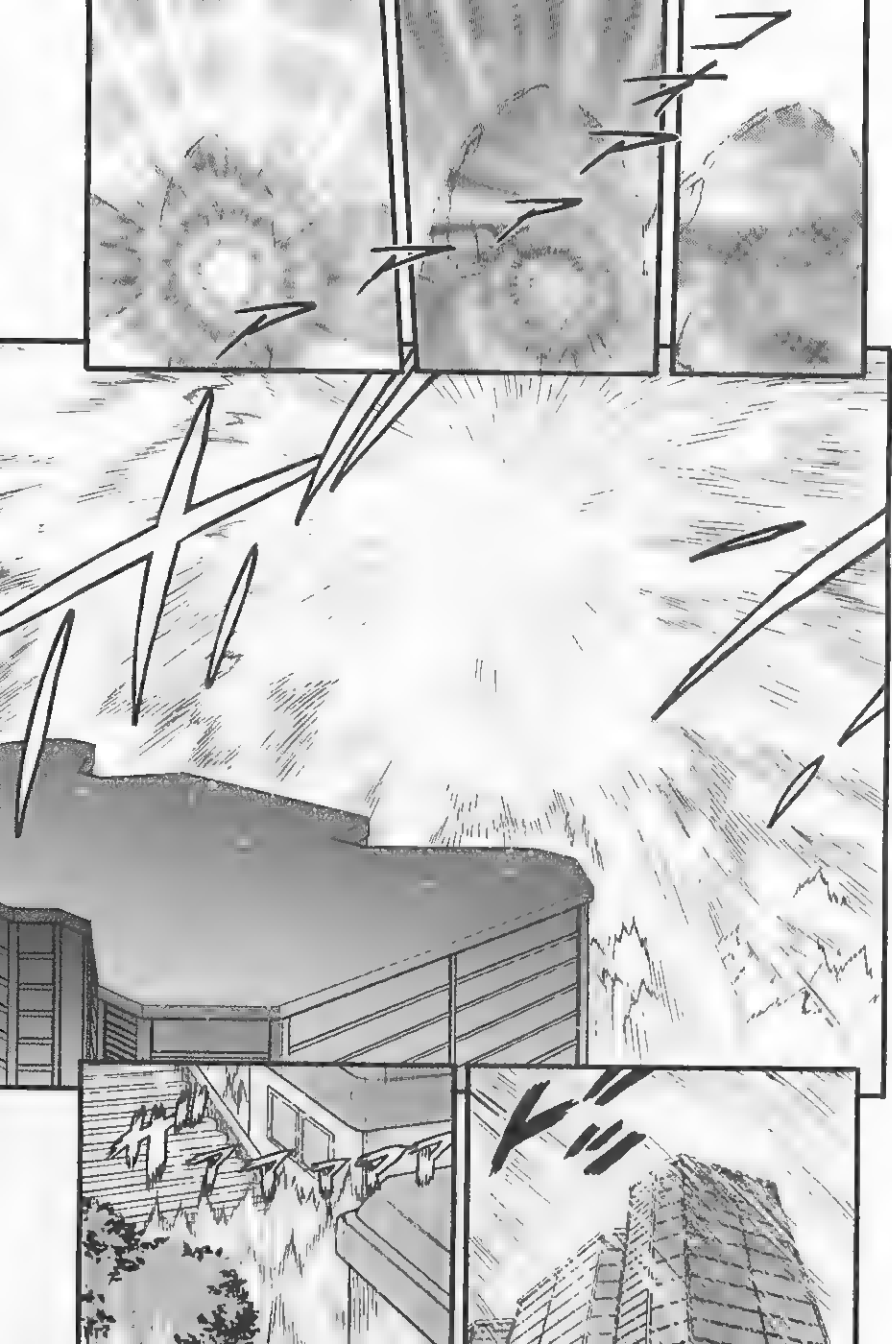
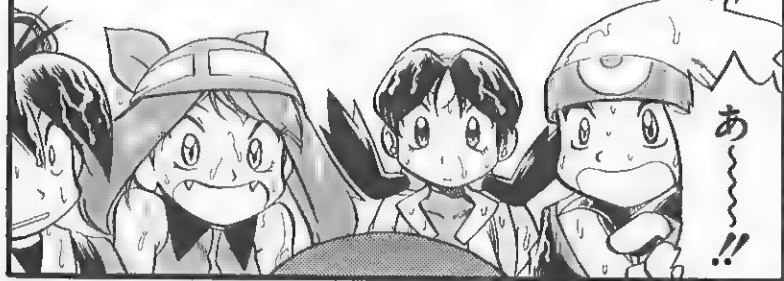
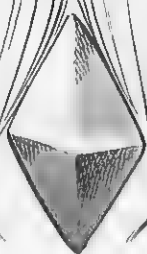
POCKET MONSTERS SPECIAL THE SIXTH CHAPTER EMERALD

ドドドドド

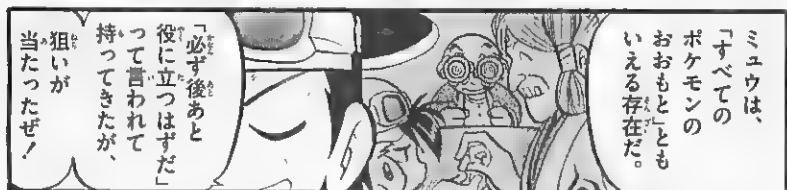
たしかに効いてはいるが、与えるダメージが小さい！
すべての力をぶつけてるとに!!
いや、まだすべてじゃねえ！イエロー先輩！さっき言ったようにがんばってもらう時が来たぜ！
え、ええ!?
ええ、ピカとチュチュ、そしてピチュ。
下にいる3匹もここにいるみんなと同じく…、
新たな技を身につけて来た！
新たな技…。

すっく!!
…………。
おおおおおおお!!
"電気の究極技(ボルテッカー)"!!!

ハァ
…は、
はじけとんだ…、
ハァ
すべてが…。
10人と…、
12匹の力で、
究極の…、
合体技で…!!

プ…。
へ〜〜、なかなかcuteなHairStyleじゃないか!!
それが素の髪型とね!? かわいいか〜〜〜!!
わたしも久しぶりに見たわね。

あのレックウザを制御しようと作られたその翠色の宝珠。
その力も手伝って、操られていた何百匹ものポケモンを一度にひれ伏せさせたんだろうね。
そうったいね。
おいおい！ほめてやるべきは額の飾りじゃなくて、出身地を一発で見抜けるエメラルド本人だろ？
………。
それなんだけど…、エメラルドくんの射ち出す弾丸は「ふるさとの土」でしょ？
鎮めたポケモンたちがすべて同じ出身地とはとても考えられないし…、
いったいどこの土を射ち出したの？
知りてーか、クリス。見せてやんな、エメラルド。
うん！いいよ！
コロン

さいはての
…ことう?

幻のポケモン、
ミュウがいた島だ。

ハギっつーじいさんが上陸したとき取ってきた「土」をキワメばあさんが受け取って、
さっきオレがエメラルドにさずけてやったのよ。

ミュウは、「すべてのポケモンのおおもと」ともいえる存在だ。
「必ず後あと役に立つはずだ」って言われて持ってきたが、
狙いが当たったぜ!

すべてのポケモンの遺伝子を持つといわれるミュウ…、
No.151 ミュウ
しんしゅポケモン
たかさ 0.4m
おもさ 4.0kg
その故郷の島の土だから…なのね!

エメラルド、よくぞオレが作ったチャンスを生かしてモノにしたな!
ハイ!!

!?
お、おい!

!!

はなれろ、エメラルド!!
そいつはキケンたい!!
大丈夫、もう抵抗する力もないよ。
剣も鎧も失っている。

おまえが操っていたレンタルポケモンたちはすべて解放された。
このまま態度を変えないなら…、

おまえは…独りだ。

……、
…フ。

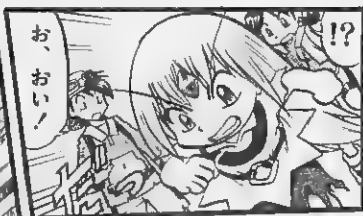
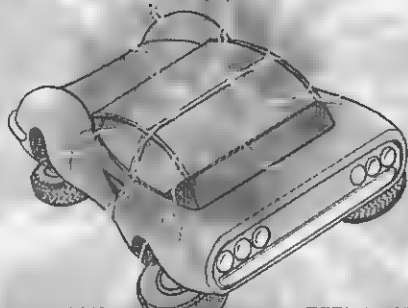
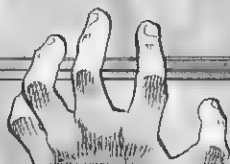
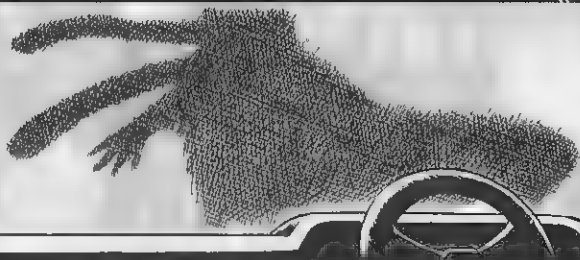
独り…か。
…フフ…、フフフフ…。

かまわぬ…。
…むしろ、自ら望んだことだ。

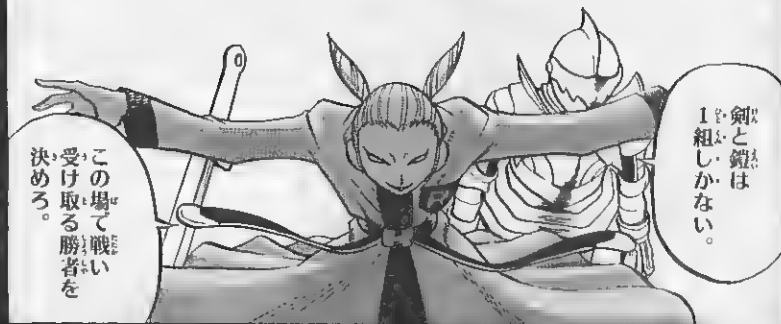
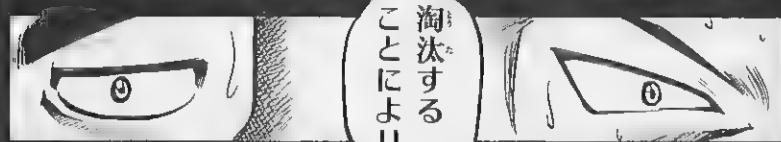
自分を慕う部下も…、
組織も切り捨て…、

唯一…友と呼べそうな…、命の往き来を共にした男すらも捨て去った。
そういう人間だ…、…私は…。

と、どういうことだ!?

聞きたいか？
あの時…、

ルネシティの上空、
巨大なエネルギー渦巻く
あの場所で…、
2つの
宝珠も
奪われ…
私はマツブサと共に
すべての終わりを
覚悟した…。
…だが…、
その中で…、
だれかが
開くはずのない
エアカーのハッチを、
突然
開けたのだ。

エアカーから出ると
そこは…、
さっきまでとは異なる。
なんとも表現できない
不思議な光の中だった。
そして、
そのだれかは…
すばらしい。
すばらしい
悪の素質。
ここで滅するのは
惜しいほど。
フフフフフフ。
た、助けて
くれるのか!?
いや、もう
助からないだろう。
…やはり、
肉体はすでに
崩壊寸前。
宝珠など体内に
取りこむものでは
ないいな…ンフフ。

しかし…、
手がないわけではない。
これは…‼
剣と…、
鎧？
いかにも。「瞬」という名の剣と、
「永」という名の鎧。
剣は、物理・特殊、すべての攻撃を反射する金属でできている。
瞬く間にはじく。

そして鎧を着ければ、
「外とは別の永遠」を過ごすことができる。
外とは…別の…、
永遠?
鎧の中に流れている刻は、外のそれよりはるかにゆるやかだ。
たとえるなら…、このホウエンにたまに出現するマボロシ島に似ている。
…と、いうことは…。
ンフフフ、そうだ。
肉体を維持できる限界まであとわずか。助からない現実を止めることはできぬ。
…しかし。
そのわずかを限りなく引きのばせる…としたら?
助かるのと同じだというのだな!?
なんでもいい助かるのなら!! 早く我われにその鎧を…!!
フンノフフフ。
我われ?
何か勘違いしているな?

剣と鎧は1組しかない。
この場で戦い受け取る勝者を決めろ。
争い、
淘汰することにより、
悪の素質は、
より純度の高いものへ、
昇華する。

あ…、

あんた!!

マツブサを…!!

これで納得がいった。
あの時の言葉…！

甲冑は正体を隠すためのものではなく、

お、おっと素の顔をさらしすぎてはいけないと言われていたのだったな…。

肉体を経過する刻を抑えるためのものだったのか!!

ミュー

そうだ…。

ガシャ

私は勝利し…、

ジャキ

剣と鎧を手に入れたのだ。

ミュー

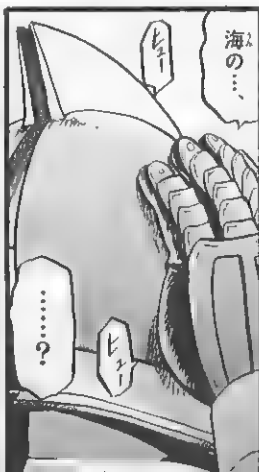
フンフフフフッ。
似合うじゃないか。
「おまえが剣をふるい仲間を傷つけるなら、
私たちは、
爪と牙でおまえの仲間を傷つけよう」…。
フフフ…。
新生した者には新しい名が必要だな。
今この場で私が名づける。
おまえの想いを含んだ名がよい。

悪を極めることでどこに行きつきたい?
んん?おまえはこれまでどう生きてきてこれから何を求めていく?
…海、
…水、
…ポケモン、
…そうです、
私は海を求め水の軍団を従えここまで来ました。
求めるものは変わりません。
海の力ですべての支配を!!
決まりだな。
サラ
サラ
鎧をまとい、荒ぶる海の流れのごとく…、
おまえは、鎧流だ!
ガ…イ…、
…ル!!
鎧流

ジラーチの存在も
その時…聞いた。
ミュー
わかった。
もういい。
もう
終わったんだ。
一緒に、
おまえの肉体が
消し飛んで
しまわない方法を
考えよう。
ミュー
ちゃぷ。
アオギリ!!
あんた、
まだ…!!
そうだ。
ミュー
そのまま
そのまま、
動くなよ。

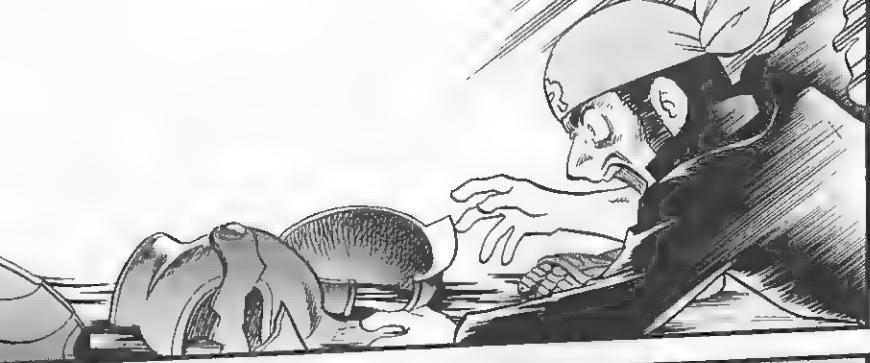
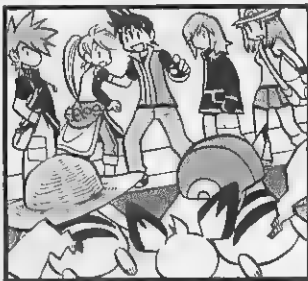
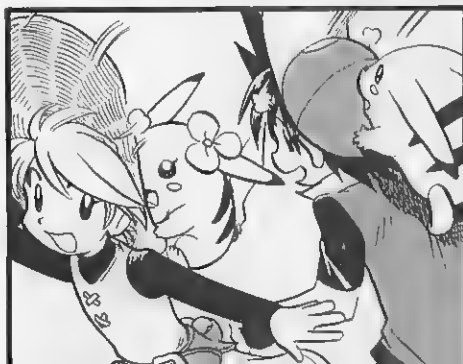
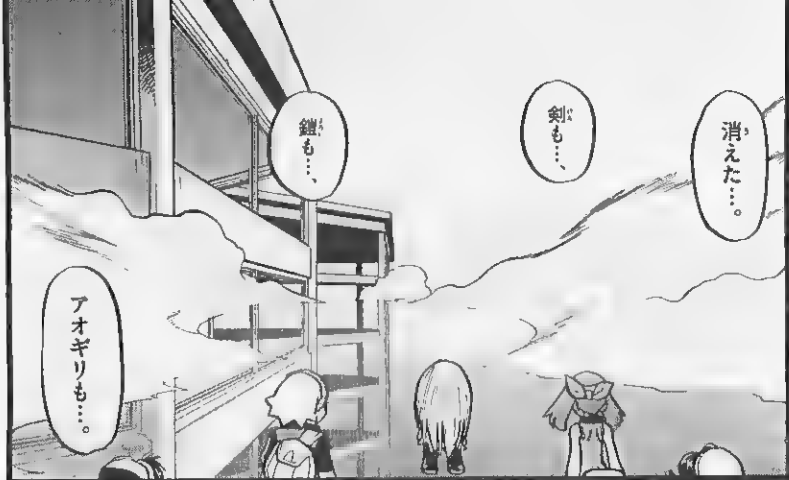
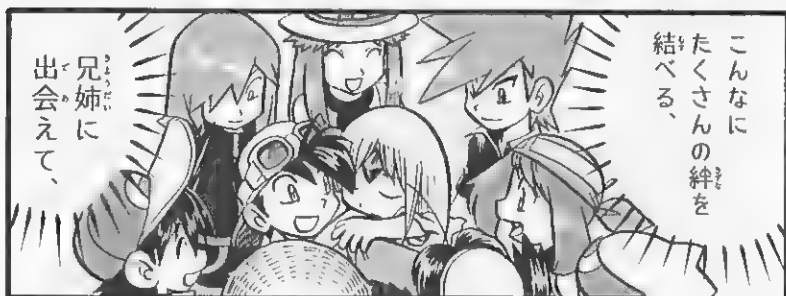
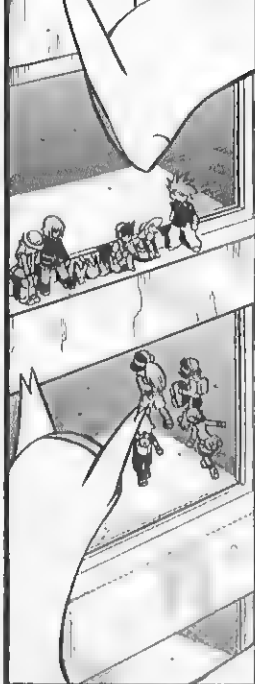
鎧…、
鎧はどこだ？

おお!!
あったぞ!!

この鎧さえあれば…、遅める…。遅められる！
あとわずかが…永遠に変わる。

ジラーチのたんざくはまだ1枚残ってる…、
それを使ってもう一度…。

海の…、
ヒュー
……？
ヒュー
その鎧…、

う…、
うおお!!
ゴールドさんが着ていた、
ニセ物だよ。
な!ニセ鎧を用意してよかったろ?クリス!
こうなることは予想済みだったのよ!
ウソつけ。
ウソつけ。
ウソつけ。
本物。
本物。
本物。
ガイル…いや、
アオギリ…!
本物…!

消えた…。
剣も…、
鎧も…、
アオギリも…。
スー
スー
終わったんだ、これで…、本当に…。
ね、エメラルド。
寝ちまいやがった!
スー

よかったな、ラルド。
しっかり見ていたわよ。

こんなにたくさんの絆を結べる、
兄姉に出会えて、

「こんな日が来るまでひとりぼっちのラルドのそばにいる」。
そう結んだわたしたちとの約束は…、これで果たされた。
もう大丈夫ね。

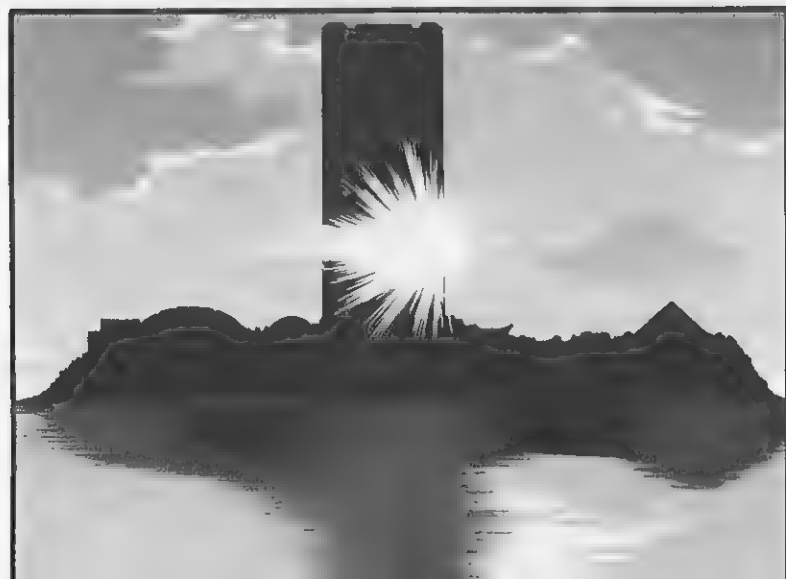
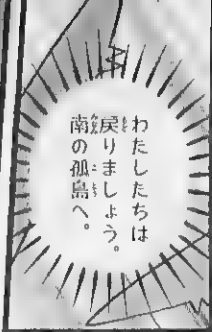
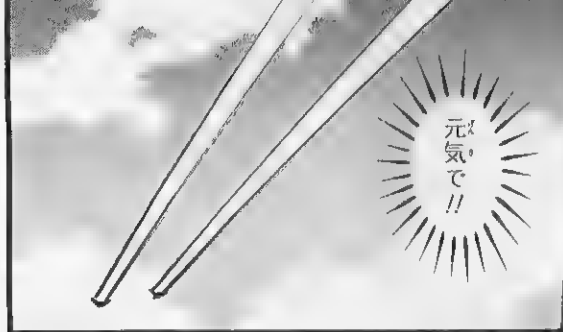
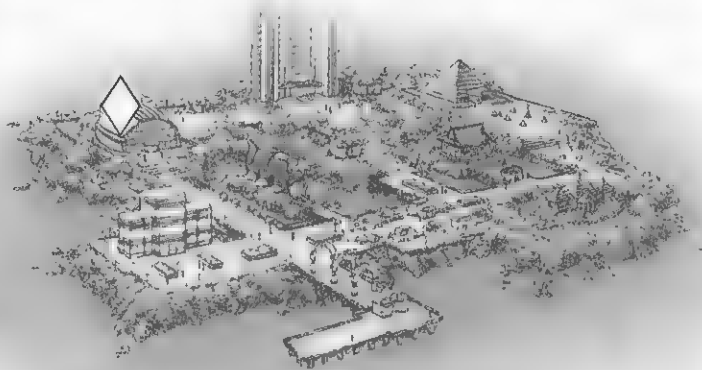
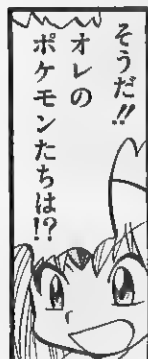
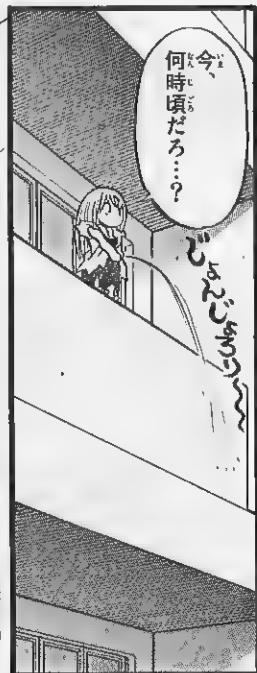
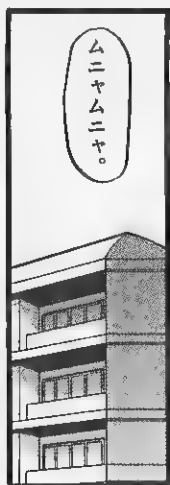
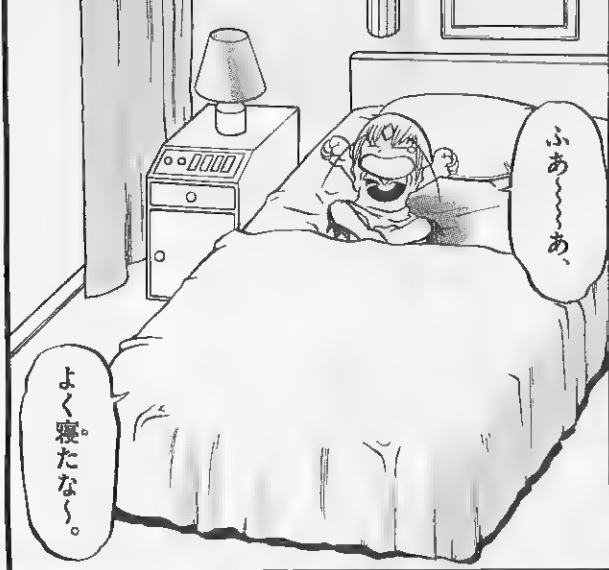
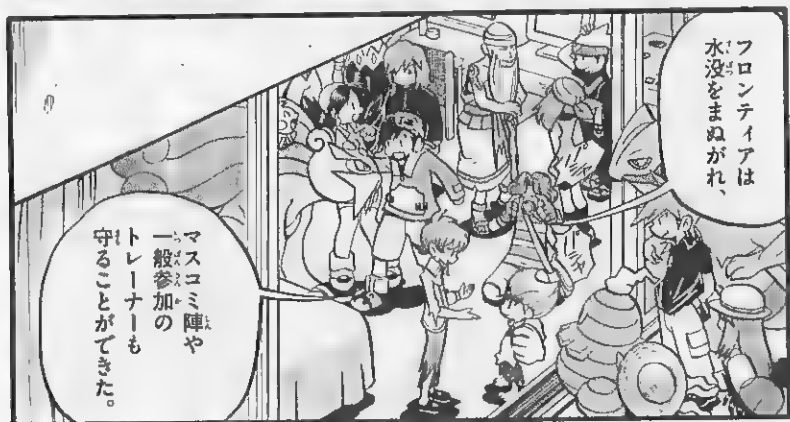
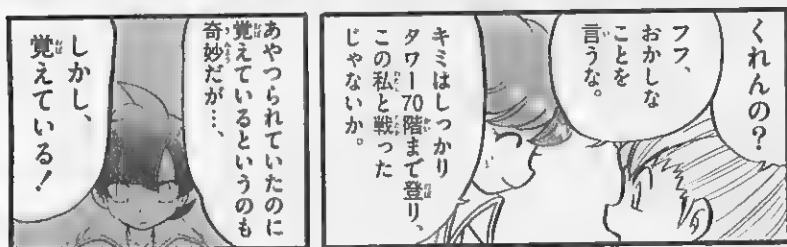
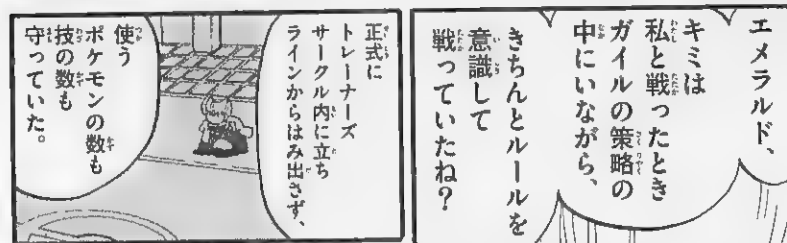
わたしたちは
戻りましょう。
南の孤島へ。
元気で!!

ASKB●GL

ムニャムニャ。
ふあ〜〜あ、
よく寝たな〜。
今、何時頃だろ…？
じょんじょろり〜〜
コラ!!
あ、おはようございまーす。
ピッピッ
おはようじゃねえよ、じきに夕方だぜ。
半日ぐっすり眠ってたよ。
そうだ!! オレのポケモンたちは!?

ジュカイン!!
サマヨール!!
あれ?
あとの4匹は?
ポケモンたちの方が仲良くなるのは早いな。
おまえのカビゴンはオレのゴンと一緒さ。
マンタインとウソッキーはオレのマンたろうとウーたろう、
それからクリスの…、
パリぴょんとも気が合ったみたいよ。
へえ!本当だ!!
いろんなところで、
仲よし組ができてらあ!

エメラルド。

リラ…さん！ブレーンのみんなも…!!

今回は本当にありがとう!!
キミの活躍のおかげで、すべての事態が収束した。
これで無事…、オープンにこぎつけられる。
ハハハ!なんのなんの!
そんなキミにこれを…、
あー、これ…!

エメラルド、
キミは私と戦ったときガイルの策略の中にいながら、
きちんとルールを意識して戦っていたね？

正式にトレーナーズサークル内に立ちラインからはみ出さず、
使うポケモンの数も技の数も守っていた。

!!

戦いに他者が加勢することも拒んだ。
来るな!!
これはオレとリラの試合だ!! 邪魔するな!!

あの時の言葉どおり、キミにとっては「試合」だったわけだ。
だから、これを渡すのになんの不都合もない。
サ、サ、サンキュ〜!!
よかったな！エメラルドくん!!

これで6つのシンボルがそろった、と…。
……。
あの、リラさん今日は何月何日だっけ？
7月6日だがそれがどうかしたかい？

あ〜〜〜！
明日が7日目〜!!

わたたたた！すっかり忘れてたよ〜!!7日間のフロンティア挑戦、あと1施設だけなのに！
ドーム！ドーム！ドーム！
なんか、前に似たようなことあったよね？
うん。

ヒース…さん！
こんな時に
頼みにくいんだけど、
ドーム挑戦させて
くんない!?
あと1日しか
ないんだよ!!
ぼくからも
おねがいします

フッ、
いいだろう。
かまわないよ。
…と、言いたい
ところだけど…。

まあ、たしかに
ドームの内部は
たいした損傷も
なかったから
使用に耐えるが…。
私の施設の形式は
「複数のトレーナー
参加のトーナメント」
だし…。
トーナメント!!

何か
思いついたん
ですか？
レッドさん。
うん
うん
いや、
そういう
話ならさあ…、

いっそ、
全員で
トーナメントでも
すっか!?
なんちゃって
え〜〜〜〜!!?

それ、
最高!!!
エニシダオーナー!!
これだけの事件が起きたんだ、特例として認めようじゃないか!
思う存分戦いたまえ!
10人の図鑑所有者たちよ!!
ヒースはこの状態で参加は無理だから、
トーメントの頂点に立った者にタクティクスシンボルを授けちゃう!!
オ〜ナ〜!!
だって昨日、そう言っただろ?
怪しい…。
商売のニオイがプンプンするんじゃねースか、あんた!?
ハデにトーナメントイベント化して、もうけようとか考えてんだろ!?
おォ!?
ギョギョ!

だいたい、「ジラーチのたんざく1枚必ず残しとけ」とかムチャな条件つけやがって!
いったい、なんの願いをかけるつもりだったんだ!?
おォ、コラ!!これから何を願うんだ!?
あ、イヤじつは…。
もう、頼んじゃいまして。
にゃにィ～!!?
ドドドド…
海の向こうから何か聞こえる。
なんだろシルバー。
あ!
ジラーチ!!
うつら
うつら…
残しておいた3枚目のたんざくにも文字が浮き出てるよ!!

見える？サファイア。
この近距離なら楽勝ったい！
じゃ、これに書きとめて。

え〜〜と…、
こうやろか…。
サラ
サラ

かしてみろ、オレが読める。
ハイ！

……。

なんて浮き出てたんスか？グリーン先輩！
エニシダオーナーの願いって！

海の向こうからの音…、どんどん近づいてくる。
ドドドド

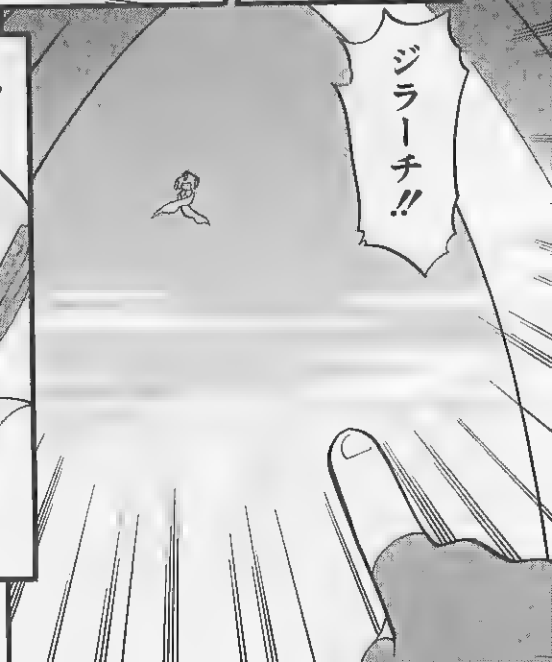
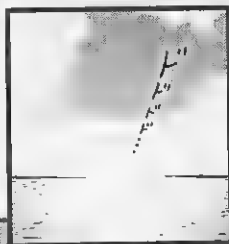
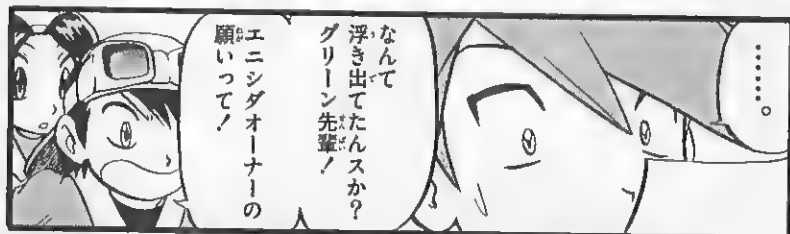
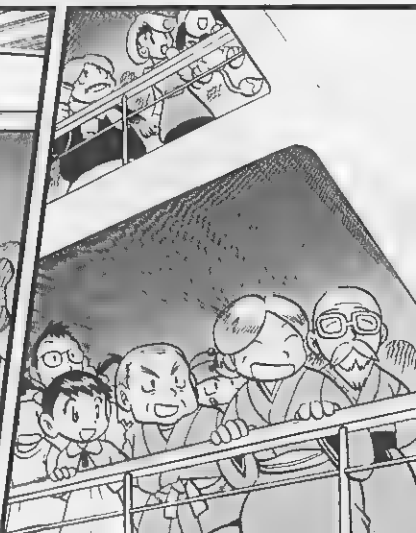
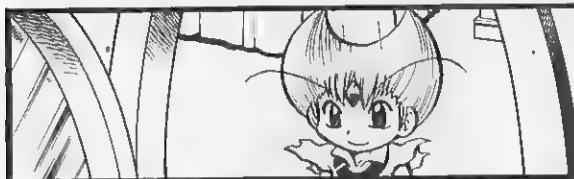
「バトルフロンティアに…、

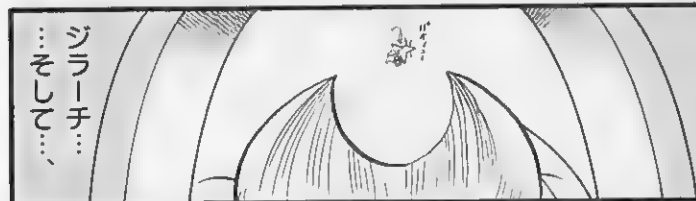
たくさんの…、
ドドド

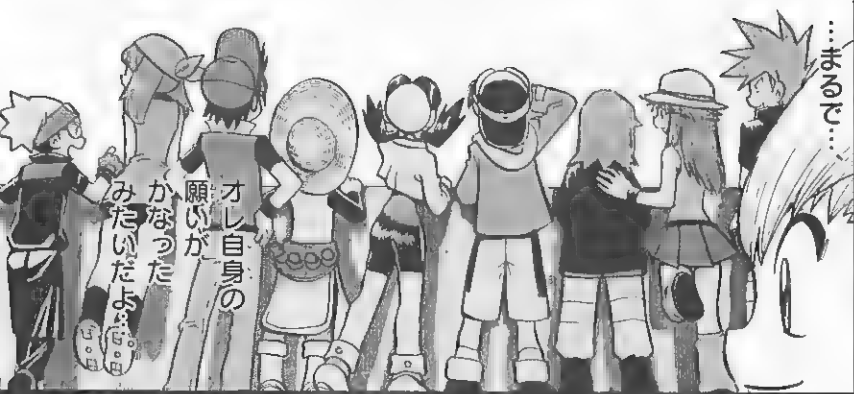
お客様が来ますように。
AQUA

できれば初日から10万人くらい」。

にゃはっ！

シュル…

ジラーチ…、

シュル
シュル

おやすみ…。
ジラーチ…
…そして…、

ありがとう…。

…まるで…。
オレ自身の願いがかなったみたいだよ…。
大丈夫かな…あんなに大勢…。
よかよか！にぎやかなのは大歓迎ったい！
わ〜、みんないるね〜。
でもこれて、いよいよトーナメントにしないわけにもいかないよな！
アタシも、がぜんはりきっちゃうわよ〜！パパとママも見てるもの！
そうですね！
うるさい女だ。
……。
あん？クリスも出んのかよ!?

1か月後。

…て。

実際にやったってわけか、トーナメント戦。
図鑑所有者10人で。
ええ、オーキド博士。

さぞ、大騒ぎじゃったろう。
あ、クリスくん10機の図鑑はそっちに集めておいてくれ。
ハイ。

これ、トーナメント表です。
お!どれどれ。

ほう！
バトルトーナメント
エメラルド
イエロー
ゴールド
サファイア
シルバー
グリーン
ルビー
ブルー
クリス

彼、ずっとエメラルドくんの活躍を追ってくれてたので、
他にもいい写真たくさんあるんですよ。
おお、本当じゃな。

ふうむ、…彼の連絡先わかるかな。
え？ハイ。

あー、もしもしはじめまして！わしは、オーキドじゃ。
いやー、キミの写真を見せてもらっての。
ああ、うんイヤイヤ…。

キミの腕を見こんで、ぜひ行ってほしい場所があるんじゃよ。

ポケモンが息づく島があるんじゃ。

…ハイ、…ハイ！
写真による、ポケモンの生態記録ですよね！
よろこんでお引き受けします!!

よ〜し！

ふう、
何はともあれ
これで一件落着じゃな。

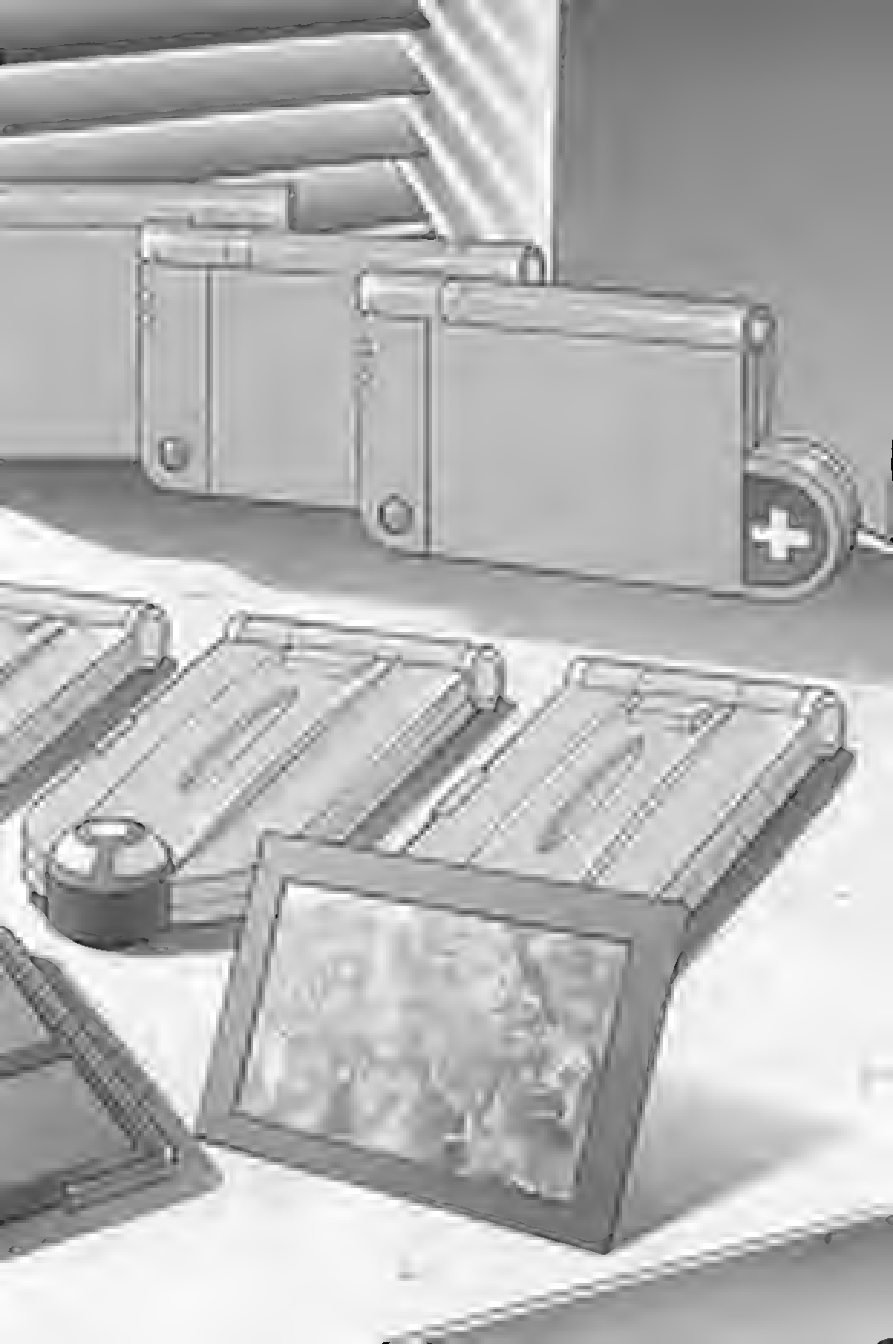
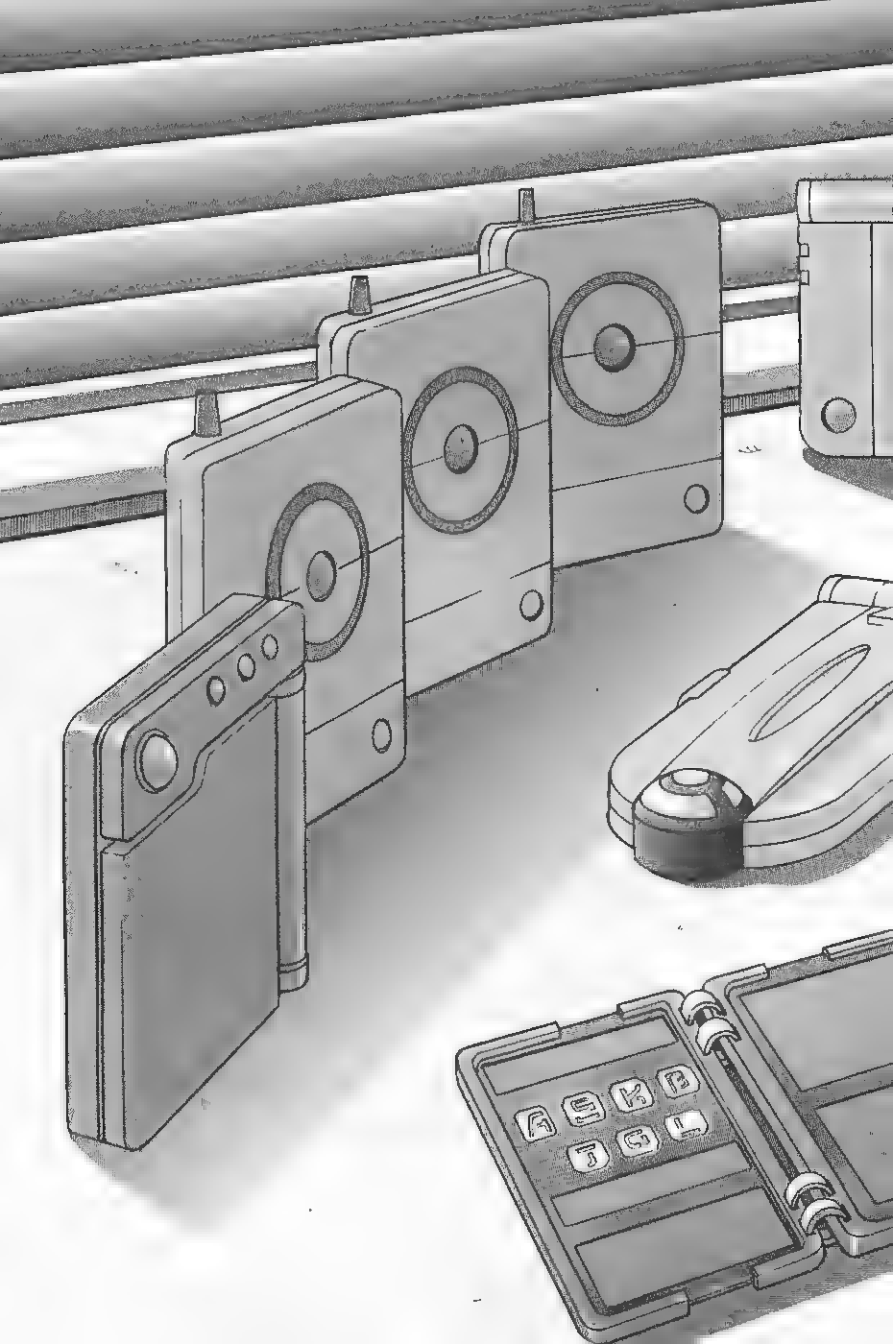
いいの
ですが…。

…だと、

…本物！
本物の鎧!!

待って！
まだ
聞きたいことが!!

あなたに
その剣と鎧を
与えた人は
だれですか!?
シュー
……。
シュー
その人の名は!?
シュー
シュー
ギ…ン…

クリスくん！
クリスくん、聞いとるか？
どうした？なにかまだ心配ごとが？
あ、いえ大丈夫です！
メールを送信するんでしたね。
うむ。
カ
わしと、わしの先輩で共同開発を進めとる新しい図鑑対応メカニズム、
ようやく完成間近じゃ。
キミたち10人の図鑑を一度集めたのもこれのためじゃった。
そろそろカントーに出向いてもらわんとな。
カチャカチャカチャ
「…最終チェックのため、カントーまでお越しください」。
シンオウ地方ナナカマド博士宛て、
これで送りますね。
送信！

Pocket Monsters SPECIAL

The Sixth Chapter

EMERALD

**RED • GREEN • BLUE • YELLOW • GOLD • SILVER • CRYSTAL
RUBY • SAPPHIRE**

エメラルド　バトルフロンティア戦いの軌跡

目ざめの7日間

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目
6/30	7/1	7/2	7/3	7/4
セレモニー 〈デモンストレーションバトルと記者会見〉	バトルファクトリー 〈挑戦・勝利〉 K	バトルチューブ 〈挑戦・勝利〉 L	バトルピラミッド 〈挑戦・勝利〉 B	[午前中] 〈アトリエの洞窟での戦い〉 [午後] バトルアリーナ 〈挑戦・勝利〉 G

HOUEN

BATTLE FRONTIRE

ジラーチ
5日目
7/5
[午前中]
バトルドーム
〈挑戦・敗退〉
[午後~夕刻]
バトルパレス
〈挑戦・勝利〉
[夜]
バトルタワー
〈ガイルとの最終戦突入〉
6日目
7/6
バトルタワー
〈5日目晩から続く戦いに決着〉
7日目
7/7
バトルドーム
〈再挑戦・トーナメントのやり直し〉

Pocket Monsters SPECIAL

第6章 サブタイトルリスト

26巻

27巻

The Sixth Chapter
Sub Titles List

28巻

318話：勝利を呼ぶ闘志

319話：トーナメントinドーム

320話：助っ人 到着

321話：ルビー対エメラルド

322話：本来のパートナー

323話：スーパースターの戦略

324話：宝珠の残像

325話：ガイル再び

326話：突入 バトルタワー

327話：甲冑の素顔

10人の集結

29巻へつづく

29巻

328話：海の魔物

329話：星に願いを

330話：開かない心

331話：憧れと尊敬と

332話：新しい自分

333話：真実の瞳

334話：10人の集結

335話：トリプル×トリプル

336話：授けし者

337話：いっそ全員で

シンオウ地方へ…!!

30巻へつづく

ポケモンといえば〜

ポケモンといえば〜

ポケモンといえば?!

ポケモンといえばボールですね!
そうですね〜。
ボールに入れればポケットに入っちゃうモンスター、だから「ポケモン」なんです!
ボールにはたくさん種類があるけど言えます?
ひとつも言えません。
え?覚えてないんですか?

ハイ!覚えるのをさぼーる。

そんなこと言わないで。捕獲の基本ですよ!
そうですか〜。
あこがれはやっぱりマスターボール!
ああ、どんなポケモンでも捕まえられる…。
なんだ、知ってるじゃないですか!!

ハイ、それだけは覚えますたー。

ポケモンといえば!?

ポケモンといえば、「特性」ってありますよね!
ありますねー。

たくさんの「特性」があるけど、いくつ言えますかー?
ひとつも言えません。
ええ?覚えてないんですか?
ハイー。
だって、めんとくせいから。

そんなこと言わないで覚えましょーよ、バトルに影響しますから。
そーですか?

ボクが好きな特性は、やっぱり「ものひろい」。
おトクだもんねー。
あー、それ知ってます。

この前からまぶたがはれちゃって、痛くて…。
それは、ものもらい!!

ポケモンといえばポケモン
冒険!!
ポケモンといえば旅!!
シンオウ地方といえばダイヤモンド・パール!!
いってらっしゃいませー
予告といえば30巻!!
そんな新章!! 次巻より本当に始まります!!!
シナリオといえば日下秀憲
作画といえば山本サトシ

てんとう虫コミックススペシャル　「ポケモンワンダーランド」掲載作品

ポケットモンスタースペシャル

2008年12月2日　初版　第1刷発行　(検印廃止)

シナリオ　日下秀憲
まんが　山本サトシ

発行者　塩谷雅彦
印刷所　三晃印刷株式会社
PRINTED IN JAPAN

発行所　(〒101-8001) 東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL 編集 03(3230)5406
販売 03(5281)3556

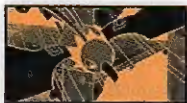
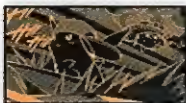
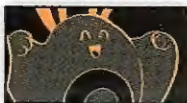
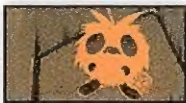
株式会社 小学館

ISBN978-4-09-140743-6

編集／齋藤 慎・藤田健一　本文デザイン／瀬川真由美・高野 册
編集協力／笠原 宙（十八 VAN PLANNING）・長澤優美子・遠山敦子

衝撃の素顔！　甲冑の男の正体は
かつての敵・アオギリだった!!
ジラーチの短冊に悪の願いが書き込まれ、
バトルフロンティアをおおう巨大津波があらわれる!!

対抗するは歴代ポケモン図鑑所有者たち！
明かされるエメラルドの過去!!
フルスピードで加速する
物語はやがて涙の結末へ…!!!

ポケットモンスターSPECIAL 29

大決戦I

大決戦II

大決戦III

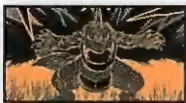
大決戦IV

大決戦V

大決戦VI

大決戦VII

大決戦VIII

大決戦IX

Epilogue

ISBN978-4-09-140743-6

C9979 ¥438E

定価：本体438円＋税

雑誌 45217-43　　小学館

衝撃の素顔！　甲冑の男の正体は
かつての敵・アオギリだった!!
ジラーチの短冊に悪の願いが書き込まれ、
バトルフロンティアをおおう巨大津波があらわれる!!

対抗するは歴代ポケモン図鑑所有者たち！
明かされるエメラルドの過去!!
フルスピードで加速する
物語はやがて涙の結末へ…!!!